

第2 地域振興計画等の推進状況

広域振興局毎の4つの地域振興計画は、①中期計画に掲げた各分野の基本目標の達成に向けて、それぞれの地域の実情に合わせて現地・現場で施策・事業を推進していくための中期計画の「実行計画」という側面、②各地域の特性や資源を最大限活かしつつ、府域全域で希望に輝く地域づくりを進めていくための地域独自の「成長戦略」という側面の2つを併せ持った計画となっている。

このため、本節では、はじめに、各地域振興計画に盛り込んだ数値目標全体の達成状況を分析した上で、4つの地域振興計画毎に、今後の主な課題と重点施策の取組状況、関連指標の動きを取りまとめた。

次に、京都市域における主要施策・事業の実施状況や「みやこ構想」及び「3つの京都づくり」の推進状況を取りまとめた。

1 数値目標の達成状況

数値目標※を達成した指標

※2015年3月（改訂前の計画期間）までに達成をめざすもの

- 山城地域振興計画 60%
- 南丹地域振興計画 55%
- 中丹地域振興計画 65%
- 丹後地域振興計画 63%

各地域振興計画における数値目標の達成状況は以下の表-2のとおりである。

数値目標達成率の低い指標については、それぞれの要因を分析し、課題を明らかにした上で、新計画において課題解決を図る具体方策の検討とその着実な取組が重要となる。

◇表-2：数値目標を達成した※1指標の割合

分野	指標数	実績値 計測指標数 a※2	数値目標を 達成した 指標数 b	数値目標を 達成した 指標の割合 b/a
山城地域振興計画	20	20	12	60%
南丹地域振興計画	18	22	12	55%
中丹地域振興計画	17	17	11	65%
丹後地域振興計画	16	16	10	63%
合計	71	75	45	60%

※1及び※2の考え方については、P. 4表-1の注意書きと同じ

2 地域別の主要な重点施策の実施状況等

地域別の主な課題・重点施策の取組状況は以下のとおり。

なお、山城・南丹・中丹・丹後の各地域振興計画について、数値目標の達成状況を示すとともに、基礎資料として、「統計データ」、「施策指標」を添付した。

京都市域については、同エリアで京都府が展開する主要施策・事業の実施状況を掲載した。

山城地域振興計画

(1) 今後の課題

今後の課題 1

「お茶の京都」づくりによる地域の活性化

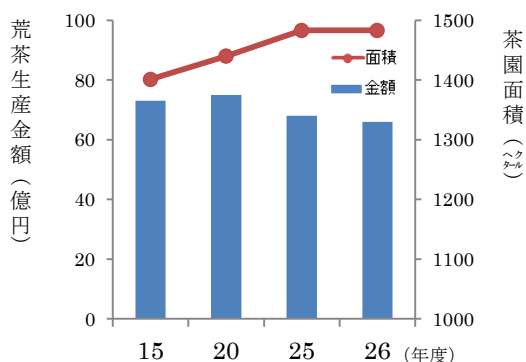
【計画改定後の新たな動き】

- 平成27年4月に「日本茶800年の歴史散歩～京都・山城」が平成27年度から新たに創設された「日本遺産」に認定される。
- 平成27年1月に南山城村、八幡市の茶畑景観が、6月には城陽市、京田辺市、宇治田原町の茶畑景観等が「京都府景観資産」に登録

【課題】

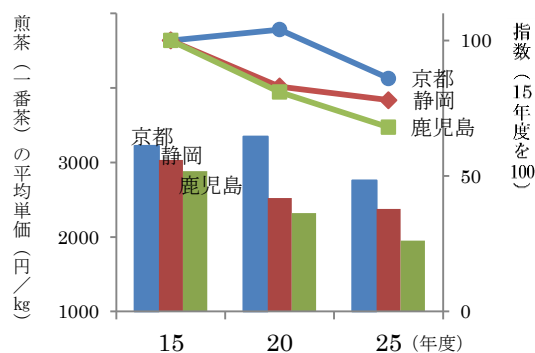
- ☆ 「日本茶800年の歴史散歩」の日本遺産認定を契機に、世界に誇る日本の喫茶文化を育んできた「宇治茶」に関わる山城地域のさまざまな有形無形の資産の価値の再認識が必要
- ☆ さらに、平成29年度の「お茶の京都」のターゲットイヤーや平成32年のオリンピックイヤーに向けて、「世界文化遺産登録」を視野に入れた「宇治茶」の普遍的な価値の世界への発信と、そのことにより多くの人々が訪れる大交流圏を創出し、地域の均衡ある発展を目指すことが重要

茶園面積、荒茶生産金額の推移



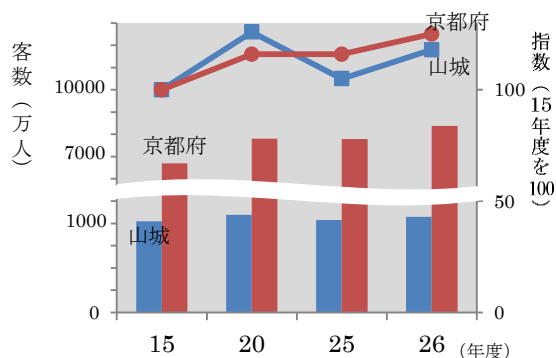
資料：京都府茶業統計 □施策指標（新計画）

主要産県別茶価の推移（煎茶一番茶）



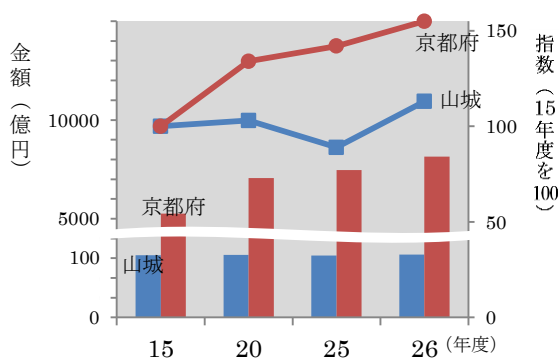
資料：全国茶生産団体連合会調べ ◆統計データ

観光入込客数



資料：京都府統計書 □施策指標（新計画）

観光消費額



資料：京都府統計書 □施策指標（新計画）

今後の課題 2

交流連携による産業イノベーションの創出と雇用の拡大

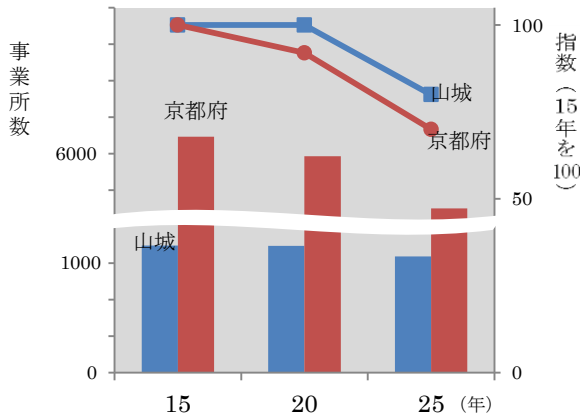
【計画改定後の新たな動き】

- 城陽新市街地、白坂テクノパーク、京田辺において、流通、ものづくり企業の進出が進む。
- 平成27年3月21日に国道307号青谷バイパスが開通し、開発が進む「白坂テクノパーク」への交通アクセスが円滑化

【課題】

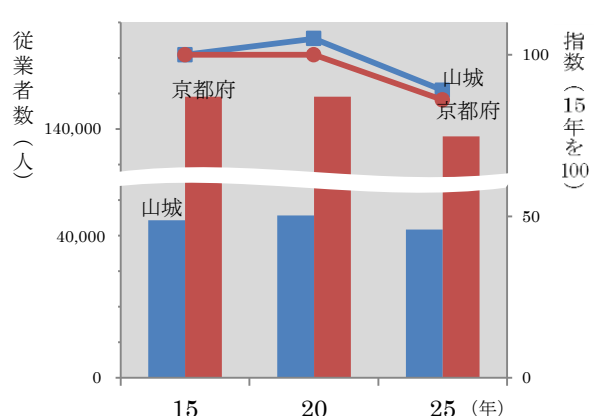
- ☆ 京都市域から関西文化学術研究都市に至る地域と白坂（井手町）・城陽地域の企業との交流連携、地元中小企業と誘致企業との交流連携により、個々企業の成長・発展と産業イノベーションの創出に加え、地元雇用の拡大を図ることが重要

山城地域の事業所数（製造業）の推移（従業者4人以上）



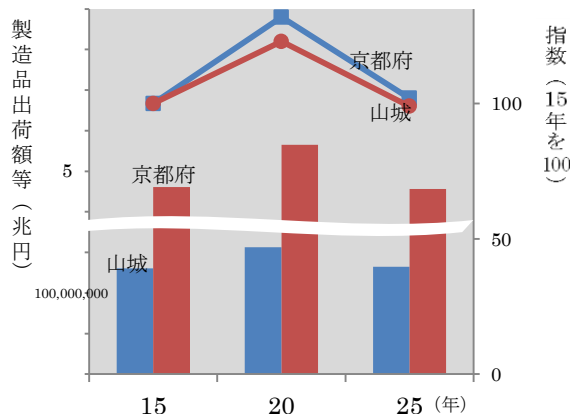
資料：工業統計調査（経済産業省） ◆統計データ

山城地域の従業者数（製造業）の推移（従業者4人以上）



資料：工業統計調査（経済産業省） ◆統計データ

山城地域の製造品出荷額等の推移（従業者4人以上）



資料：工業統計調査（経済産業省） ◆統計データ

企業誘致の状況について（H13～27）

地域	企業数	シェア (①/②)
山城①	114	56%
京都府②	205	—

※企業数は立地表明を含む

資料：京都府調べ ◆統計データ

今後の課題 3

戦略的・総合的な少子化対策 ～社会増促進のために～

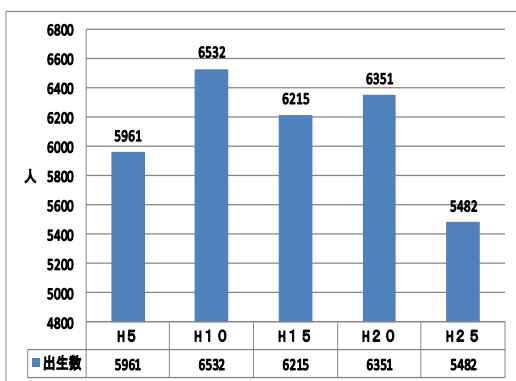
【計画改定後の新たな動き】

- 「山城広域振興局少子化対策戦略会議」を設置し、総合的・抜本的な少子化対策を検討し、平成27年5月に「山城版「ストップ少子化」への提言」をとりまとめ
- 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、各市町村においても2060年を基本とした「人口ビジョン」を策定中

【課題】

- ☆ 山城地域における人口減少を食い止めるため、思春期から結婚、出産、子育てに至るライフステージの各段階に応じた総合的な支援の仕組みづくりが必要
- ☆ 若者の山城地域への定住を促進するため、さまざまな働き方に対応する安定した雇用の場を確保するとともに、地域の資源をいかした魅力あるまちづくりを進めることが必要

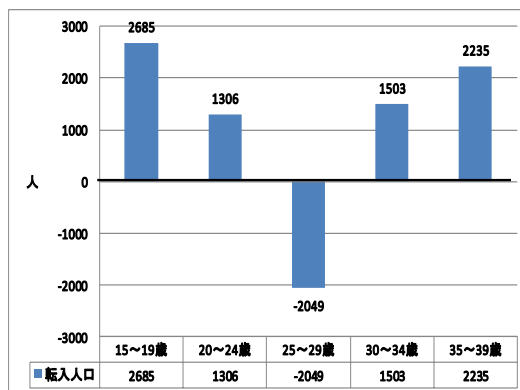
山城地域の出生数の推移



資料：人口動態調査

□施策指標（新計画）

山城地域の転入転出の状況



【2010年国勢調査結果から作成】

◆統計データ

(2) 前年度の主な取組状況

基本方向 ■3つの京都、みやこ構想関係		平成26年度の主な取組と進捗状況
① 豊かな未来につなげる人づくりと健康で互いに支え合う安心社会の実現	健康長寿の地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業所や市町村・女性グループとの協働によるがん検診受診啓発事業を実施。(健康セミナー2回、健康出前講座8回、検診受診促進クチコミ隊養成104名)。 ● 26年度がん検診受診率……、府民インターネット調査では、25年度より受診率が向上したのは大腸がん(39.2%→40.2%)検診のみであったが、市町検診では、胃がん(7.3%→8.8%)大腸がん(21.0%→22.9%) 乳がん(23.1%→32.0%) 子宮がん(25.2%→32.3%)で増加した。 ● 医療・介護・福祉の連携強化を推進 <ol style="list-style-type: none"> ① 地域包括ケア推進等に係る各市町村担当課長会議の開催 ② 認知症カフェの整備 ③ 認知症高齢者SOSネットワークの構築 ④ オレンジロードつなげ隊による啓発事業を開始 ⑤ 若年性認知症の啓発及び相談事業の開始
	子どもや障害のある人などだれもが安心して生活できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者の企業就職を支援、毎年目標を達成(就職者数2014年度124人 2013年度138人 2012年度110人 2011年度106人) ● 障害者の手作り製品を販売する9か所の常設店の開設を支援、目標達成、さらなる増設をめざす
	郷土を愛し、世界にはばたく子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学好き・ものづくり好きの子どもの育成事業で、事業参加者が定着 ● 山城地域の歴史や文化・産業などの学習を推進し、全小中学校で取組済み ● 親への学習機会の提供や家庭教育支援に携わる人材の養成を進めている。
② 豊かな自然環境と磨き上げた文化が織りなす山城交流圏の形成	地域の資源をいかした「やましろ観光」の推進	<p>お茶や歴史文化をテーマに長時間楽しめる観光を推進。旅行会社や交通事業者と連携してお茶や食を楽しんだり、国宝歴史文化遺産等をつなぐ滞在・周遊型ツアーの造成や歴女のロコミ等SNSを活用した情報発信を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光入込客数1,106万人(対前年115%)、観光消費額171億円(対前年128%) ● AKB48横山結依さん(木津川市出身)が「京都やましろ観光大使」に就任 ● スイーツパスポートの発行(2万部)、周遊マップの作成(2万部) ● 外国人向けの情報発信の強化(英語版ホームページによる情報提供を開始)
	共に進める豊かな森と里づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● モデルフォレスト運動の推進を目指し、森林ボランティア団体を拡大(新規1団体(累計20団体)) ● 特色ある農村ビジネスを目指す明日の京都村づくりを推進(南山城村、商品開発20品目)。山城初の農家民宿開設支援(和束町、1戸)。空き家を改修して移住促進(笠置町、2戸) ● 地域産木材の利用促進のため、市町村基本方針の策定支援(新規6市町(累計11市町村))と地域産材を利用するシステムを構築(3か所) ● ニホンザル農作物被害: 追い払い等住民が一体となった取組(4集落)や個体数管理(捕獲数114頭)を進め、5年連続減少(被害金額 26百万円→21百万円)
	地域を彩る文化の育成と新たな創造	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代の担い手育成のため、「やましろのタカラフェスティバル」を開催。3,200人の参加者が文化に親しむ機会を創出 ● 「国民文化祭」で育まれた山城地域の文化イベントを「やましろ文化祭」として冊子やHPで紹介し、18.5万人が参加
	山城の豊かな自然と人が共生する環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境情報の整備・提供 ネットワークへの登録200団体(2014年度末)を目標に、周知勧誘を行ってきたところ、2015年3月末現在232の事業者等が登録

基本方向 ■3つの京都、みやこ構想関係		平成26年度の主な取組と進捗状況
③ 新たな知恵や価値を生み出し京都府経済をリードする成長軸の構築	■「宇治茶の郷づくり」の推進	<p>「お茶の京都」づくりを目指して、次の2つの取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宇治茶ファンを広げ、消費の拡大を図るとともに、宇治茶の世界文化遺産登録を旗印に宇治茶の価値・魅力を発信 <ul style="list-style-type: none"> ・お茶の京都推進会議を設置し、お茶の京都構想を策定 ・将来の宇治茶ファン(キッズ茶ムリエ380人)、フェイスブックによるファン(2,570人)、茶園を守る等の応援団(560人) ●持続可能な茶業経営の確立を図るため、香り高い宇治茶の生産振興 <ul style="list-style-type: none"> ・優良品種への改植・新植(10ha) ・安心・安全な宇治茶生産を推進するGAP手法を製茶工場に導入(新規116工場:延べ242工場(全体350工場))
	安心・安全な農産物づくりと担い手対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●京やましろ新鮮野菜登録生産者の拡大(新規343人(延べ546人)や販売促進(販売額 3億円(対前年600%)) ●「やましろ農産物直売所ネットワーク」の取組を支援し、魅力ある直売所づくりを推進(直売所フェア、食品表示リーダーの設置)(販売額10.3億円:3年連続10億円突破) ●「やましろ野菜産地担い手養成塾(4講座)」や「やましろ担い手農家養成インターンシップ」(1講座)等を開催し、担い手を確保・育成(新規19人)
	■地域経済の活性化と雇用を創出する元気な企業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●「京都版エコノミックガーデニングの観点から」きめ細かな訪問活動や支援活動の実施(企業訪問4,000社) ●プレミアム商品券発行支援(16商店街)、府事業等による支援企業数(59社) ●「京やましろ企業オンリーワン倶楽部」等を通じた活動等により、企業間及び産学官連携を一層推進(新規10社、累計96社) ●市町村と連携した企業誘致の促進(誘致企業数22社) ●地域の実情に応じた雇用対策の推進(雇用創出数500人)
	■地域の未来を拓く「関西文化学術研究都市」	<ul style="list-style-type: none"> ●最終年度となるエネルギーマネジメントシステム実証事業については、結果分析等を実施 ●スマートシティエキスポ開催などけいはんな学研都市のスマートシティづくりを推進 ●サントリーや京都大学新農場等アグリバイオ関連の研究機関等の連携を推進 ●けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)の本格始動に向けた施策を推進 ●「出張サイエンスフェスティバル」(学研近隣地域)・「けいはんなロボット教室」等を実施
④ 安全な暮らしと、人・もの・情報が行き交う活力の創出	地域交流・活性化を促す交通基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●高速道路へのアクセス道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・八幡インター線等の整備 ●JR奈良線高速化・複線化に合わせた関連道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・向島宇治線の事業着手等 ●まちづくりと一体となった道路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・西京高槻線(物集女第1工区)の完成 ・(都)山手幹線「宮津・菱田工区」等の整備 ・青谷バイパスの完成 ●生活道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・上久世石見上里線、和東井手線等の整備 ・木津信楽線「湯船工区」のバイパス部の完成
	自然災害からの安心・安全とつながる空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●農地・農業用施設の防災対策の推進(ため池点検(16池)、ため池安心・安全マップ作成(2池)) ●生活道として利用している林道(5市町村5路線)の災害情報(被災箇所、被災状況、通行止情報)を府民へ提供開始(26、9～、府HP) ●H24で大きな災害を受けた宇治市炭山(モデル地区)において被害を最小限に食い止める森林整備指針「マイ防災プラン」を作成 ●河川・砂防施設等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・弥陀次郎川天井区間の切り下げ完了及び赤田川の整備 ・天皇川及び不動谷川の砂防堰堤完成 ●道路防災対策等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・大津南郷宇治線、木津信楽線等の道路斜面の崩壊防止対策 ・大津南郷宇治線「曾東大橋」、上野南山城線「大河原大橋」等の橋梁の耐震補強完成 ●適正な維持管理及び計画的な補修及び施設更新 <ul style="list-style-type: none"> ・天井川の補修工事の実施等 ●防災に係るソフト対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・水防警報河川の指定(14河川で指定、合計25河川、天井川では指定完了)<平成26年度末累計> ・土砂災害警戒区域等の指定

(3) 数値目標に対する施策指標の達成状況

施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ	
		0%	25% 50% 75% 100%
地域振興計画			
山城			
1 「脳卒中」急性期医療機関における地域連携クリティカルパス活用数	100.0		
2 障害のある人の手作り製品の常設販売店数	180.0		
3 一般就労につなげる障害のある人の延人数	116.4		
4 計画的な伝統文化・地域産業をいかした地域に関する学習(地域学習)を推進する学校数	100.0		
5 観光入込客数 年間	-10.0		
6 観光消費額 年間	96.8		
7 森林ボランティア等地域活動団体数	100.0		
8 森林利用保全活動企業数	150.0		
9 府内産木材による延住宅建設戸数	91.8		
10 山城地域における文化協会等の文化団体数	-7.3		
11 環境情報配信先登録事業者等数	116.0		
12 優良品種への改植及び新植延面積	73.4		
13 GAP手法導入製茶工場割合	64.4		
14 農産物直売所の売上額 年間	121.1		
15 農業生産における新たな担い手の確保・育成延人数	133.7		
16 オンラインをめざす元気な企業のネットワークづくり	96.0		
17 けいはんなモデル電気自動車普及プロジェクト 電気自動車等数	29.2		
18 大山崎JCT・IC～大枝IC間の移動時間	100.0		
19 さわかボランティア・ロード事業に参画する団体数	120.0		
20 山城うるおい水辺パートナーシップ事業に参画する団体数	300.0		

※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は斜線としている。

(4) 前年度の課題と主な取組状況

ベンチマークレポート [2014年9月] の「今後の課題」について、平成26年度2月補正予算及び27年度当初予算で計上した主な事業は次のとおり

① 山城地域振興計画

分野	今後の課題	主な事業等
【豊かな未来につなげる人づくりと健康で互いに支え合う安心社会の実現】		
健康長寿の地域づくりの推進	◇少子化対策を意識した乳幼児・青少年期からの健康づくりの取組の強化 ◇新たな地域支援事業への移行に係る市町支援	<input type="checkbox"/> やましろ地域協働子育ておうえん事業 <input type="checkbox"/> だれもが安心して暮らせる環境づくり
子どもや障害のある人などだれもが安心して生活できる環境づくり	◇子育て世代への支援 ◇障害者の就労定着のための生活支援や重度の障害者の在宅生活支援 ◇障害者の手作り製品・農産物等の販売・開発支援	
郷土を愛し、世界にはばたく子どもの育成	◇学校教育の充実・家庭教育への支援に向けた体制づくり	<input type="checkbox"/> 暮らしや環境を守る住民協働
【豊かな自然環境と磨き上げた文化が織りなす山城交流圏の形成】		
地域の資源をいかした「やましろ観光」の推進	日本遺産認定を契機に、お茶や歴史文化をテーマに楽しめる観光を推進 ◇観光入込客数の拡大 日本遺産認定に係る構成文化財の活用 地域の観光資源の魅力向上 ◇観光消費額の拡大 地域の食やお土産の活用 ◇外国人旅行者向けの情報発信、消費拡大	<input type="checkbox"/> やましろ歴史と文化の道探訪事業 <input type="checkbox"/> やましろ広域観光推進事業 <input type="checkbox"/> 乙訓若竹かくや姫観光・にぎわい発信事業
共に進める豊かな森と里づくり	農山村の活性化と野生鳥獣被害対策等で豊かな森と里のある地域を目指す ◇モデルフォレスト運動の更なる拡大と地産地消型林業の推進 ◇サル・鳥類等の野生鳥獣被害に強い地域づくり ◇過疎化が進む相楽東部地区にける移住対策の推進	<input type="checkbox"/> 地域鳥獣被害削減支援事業 <input type="checkbox"/> 相楽東部ふるさとのにぎわい創造プロジェクト
地域を彩る文化の育成と新たな創造	◇国民文化祭後の文化活動を周知する機会創出や次代を担う人材の育成	<input type="checkbox"/> やましろ文化交流圏づくり
山城の豊かな自然と人が共生する環境の保全	◇環境情報の整備・提供	

【新たな知恵や価値を生み出し京都府経済をリードする成長軸の構築】		
「宇治茶の郷づくり」の推進	<p>日本遺産の認定を契機に「お茶の京都」づくりの推進</p> <p>◇消費拡大に向けターゲットを絞った取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山城地域を対象に宇治茶文化の復活と継承 ・京阪神地域を対象にお茶の普及 ・首都圏・海外を対象にした販路拡大 <p>◇トップブランドとしての生産振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量の拡大（技術対策） ・販売単価の向上（ブランド化、首都圏・海外進出等） 	<p>□宇治茶振興事業①「宇治茶ムリエ事業</p> <p>□宇治茶振興事業②「うじチャ・フェア」（仮称）事業</p> <p>□宇治茶振興事業③京都山城「宇治茶の郷づくり」の推進</p>
安心・安全な農産物づくりと担い手対策の推進	<p>大消費地を控えた山城ならではの有利な条件をいかした農業の展開</p> <p>◇山城産を意識して購入する府民の割合を高める</p> <p>◇京やましる新鮮野菜の産地力・知名度向上</p> <p>◇農産物直売所の販売金額の拡大</p> <p>◇新たな担い手の確保・育成</p>	□やましる産ごちそうさんプロジェクト
地域経済の活性化と雇用を創出する元気な企業づくり	<p>中小企業への支援と企業誘致・イノベーション・雇用対策の推進</p> <p>◇優良な中小企業数の維持、誘致企業の流出防止、地域内企業の事業継続</p> <p>◇産業イノベーションの創出</p> <p>◇商店街等の活性化</p> <p>◇学術研究機関の研究成果などを活用した産学公連携の推進</p> <p>◇特性をいかした企業誘致、新たな正規雇用等の創出</p>	□やましるものづくり企業おこしやすプロジェクト
地域の未来を拓く「関西文化学術研究都市」	<p>◇産学公住連携の一層の進展、山城地域への波及</p> <p>◇「スマートシティ」づくりの推進</p>	□けいはんなスマートシティ推進事業

【安全な暮らしと、人・もの・情報が行き交う活力の創出】		
地域交流・活性化を促す交通基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◇高速道路ICアクセス道路の整備推進 ◇JR奈良線高速化・複線化に合わせた関連道路の整備推進 ◇生活道路の渋滞対策及び交通安全対策の推進 	
自然災害からの安心・安全とうるおいのある空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ◇災害に強い山づくり 森林整備の実践・防災訓練と他地域への普及 ◇農業用ため池の安心・安全の確保 ため池点検、安心・安全マップの作成 ◇河川、砂防施設の整備及び天井川対策の推進 ◇道路の防災対策、耐震化の推進 ◇公共施設の適正な維持管理の遂行 	<ul style="list-style-type: none"> □「安心安全山づくりの炭山モデル」を山城スタンダードへ □暮らしや環境を守る住民協働

南丹地域振興計画

(1) 今後の課題

今後の課題 1

「森の京都」の推進を通じて、いかに地域のブランドを高め、発信し、地域の活性化につなげるか

- 「森の京都」のターゲットイヤー（平成28年）に向けて、京都縦貫全線開通、国定公園指定、全国育樹祭等の環境・条件が整いつつある。

【課題】

- ☆ 核となる全国育樹祭のPRを強化するとともに、関連イベント等を含む「森の京都博」の全体像を樹立することが必要
- ☆ 道の駅～7彩+1味夢の里～を管内全域で展開するイベント等と連携させて、「森の京都」ウェルカムゲートとして機能させることが必要
- ☆ 「京都丹波・食と森の交流協議会」を核に市町・地域連携で推進し、修学旅行を中心とする教育体験旅行の拡大や農家B&B、滞在型クラインガルテン等の仕組みづくりが必要
- ☆ 産学公連携で地域特産品開発・事業化が必要
- ☆ 綾部宮島線（脇谷バイパス）、京都広河原美山線（内久保バイパス）等、重点整備エリアへのアクセス道路の整備とともに、各エリアを回遊することができるような案内標識の設置が必要

- 管内林業は、府内の森林蓄積の3割、素材生産量の過半数を占めるなど豊富な森林資源が伐期を迎えている。
- 昨年、丹波広域基幹林道（延長6.5km）が完成し、既設林道との一体的利用により、効率的な森林施業・搬出が可能となるとともに、管内における最新鋭の製材所整備などにより基盤整備が進んでいる。

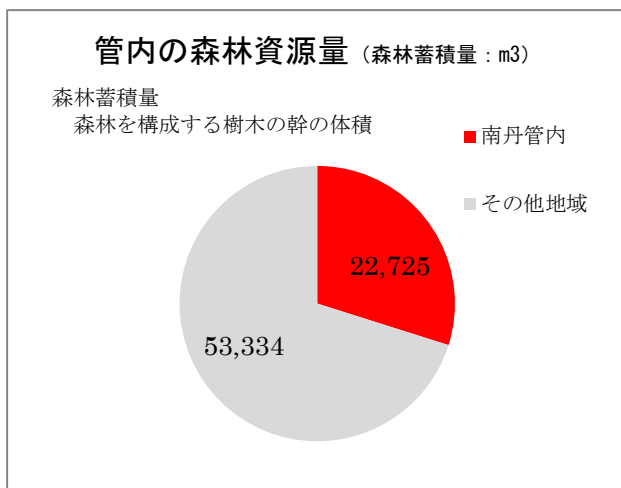
【課題】

- ☆ 計画的な木材搬出を可能とするため、地上レーザー測量等による新たな森林管理システムを産学公連携で開発することが必要
- ☆ 新技術を活用し森林組合の「森林経営計画」の策定を促進することが必要

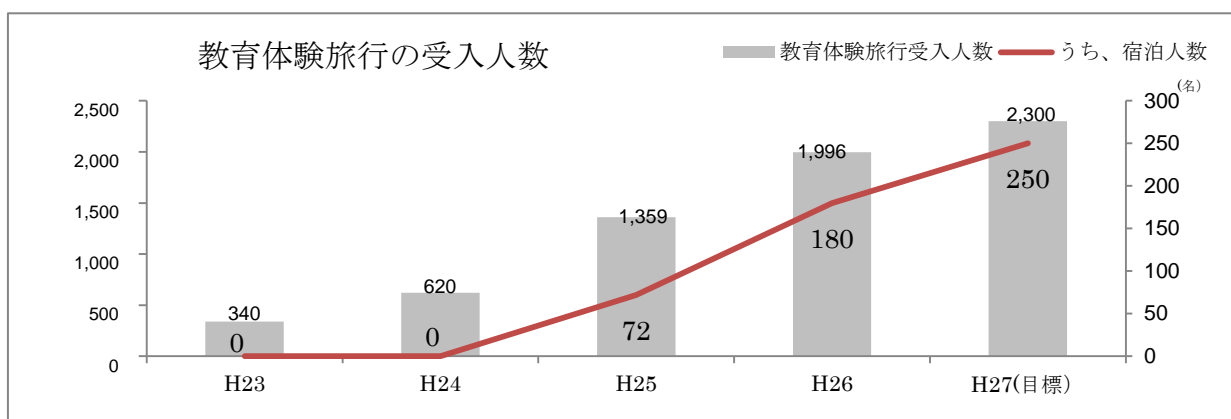
- 管内ほ場整備率（73.6%）が府内平均（62.3%）を上回るなど、農業基盤整備が進んでいる。

【課題】

- ☆ 担い手への農地の集積とともに、新たな農業ビジネス、6次産業化などに取り組む人材育成が必要（「京都丹波農起業塾」開講等）

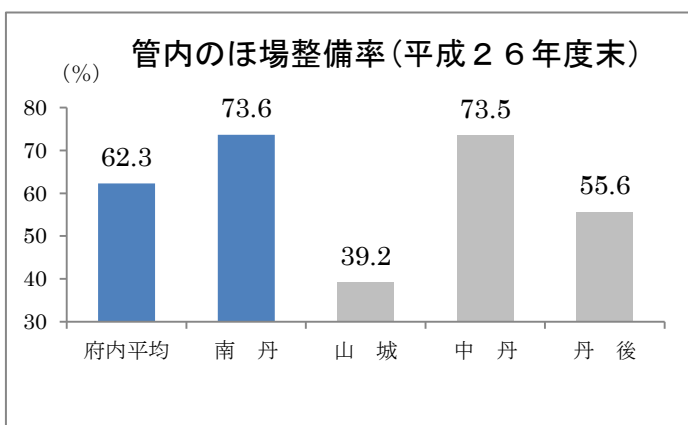


資料：京都府林業統計 平成26年版 ◆統計データ



資料：京都丹波食と森の交流協議会等からの聞き取り

□施策指標



資料：事業実績 (京都府)

◆統計データ

今後の課題 2

「子育て王国 京都丹波」をどのように実現するか

- 総人口数は、平成12年から平成22年までの10年間で約4.5%減少しており、特に南丹市や京丹波町では、大幅な減少傾向にある。さらに、管内の20歳から39歳までの女性人口は、10年間で約15%減少している。
- 婚姻数は、各市町とも減少傾向にあり、20年前と比べ約20%減少している。

[課題]

- ☆ 次代を担う若い世代をこの地域に誘導・定着させることが必要
- ☆ 安心して結婚・子育てができる社会環境の整備を図るため、地域住民や地元企業を巻き込んだ社会全体による子育て応援等、子育てにやさしい地域づくりを進めていくことが必要
 - ・ 京都丹波地域への愛郷心を高め、定住化やUターン等の推進
 - ・ 若者の出会いの場創出と定住促進
 - ・ 豊かな自然文化や充実した結婚、妊娠・出産、子育て支援

総人口の推移（単位：人）

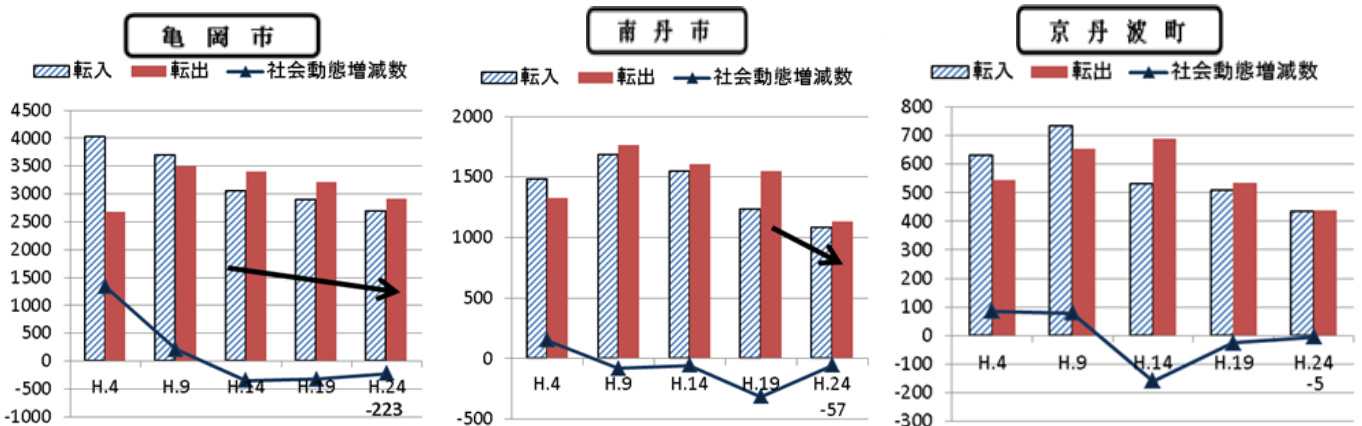
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
京都府	2,602,460	2,629,592	2,644,391	2,647,660	2,636,092
亀岡市	85,283	92,398	94,555	93,996	92,399
南丹市	36,693	37,841	37,617	36,736	35,214
京丹波町	18,696	18,785	17,929	16,893	15,732
管内合計	140,672	149,024	150,101	147,625	143,345

	平成12-22 減少率
京都府	△ 0.3%
亀岡市	△ 2.3%
南丹市	△ 6.4%
京丹波町	△ 12.3%
管内合計	△ 4.5%

◆統計データ

資料：国勢調査（平成2年～平成22年）

社会動態増減数（単位：人）



資料：府企画統計課（京都府推計人口調査）

◆統計データ

婚姻数（単位：組）

	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年
京都府	15,101	15,869	14,899	13,978	13,189
亀岡市	497	445	472	433	388
南丹市	163	152	142	134	129
京丹波町	70	76	64	48	55

資料：府医務課・健康福祉総務課（府人口動態統計）

◆統計データ

女性人口（20～39歳）の推移（単位：人）

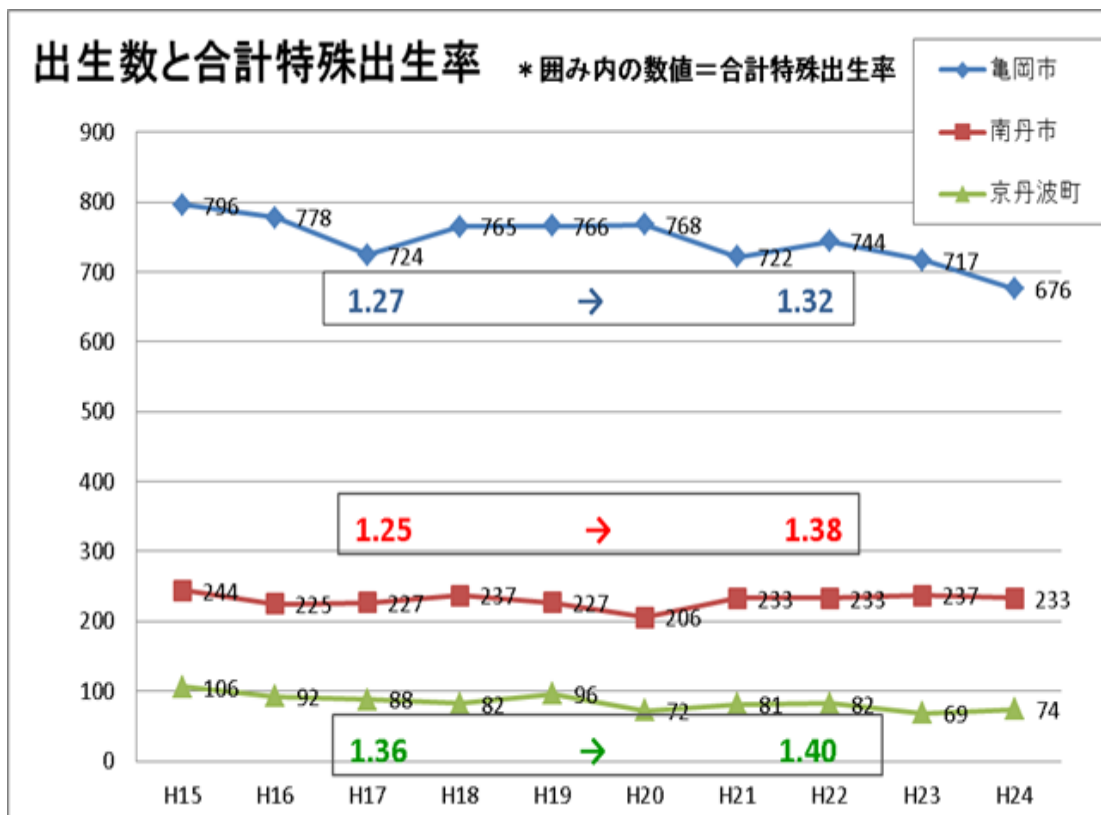
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
京都府	350,857	369,371	379,802	370,592	337,257
亀岡市	11,340	12,355	12,712	12,197	11,155
南丹市	4,028	4,245	4,154	3,925	3,453
京丹波町	1,672	1,739	1,639	1,414	1,205
管内合計	17,040	18,339	18,505	17,536	15,813

	平成12-22 減少率
京都府	△ 11.2 %
亀岡市	△ 12.2 %
南丹市	△ 16.9 %
京丹波町	△ 26.5 %
管内合計	△ 14.5 %

資料：国勢調査、日本創生会議資料

◆統計データ

出生数と合計特殊出生率



出生数:人口動態統計(京都府健康福祉総務課)、合計特殊出生率:人口動態統計特殊報告(厚生労働省)

◆統計データ

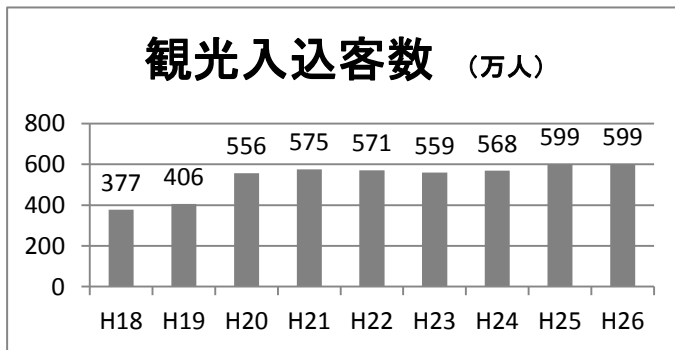
今後の課題 3

スポーツ（見る・する・楽しむ）をキラコンテンツとした観光ビジネスをいかに育てるか

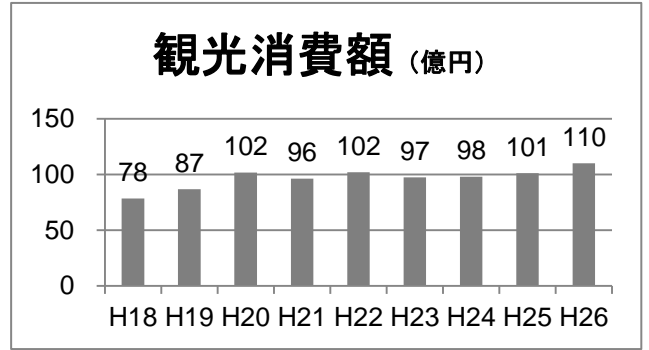
- 京都スタジアム（仮称）の建設や京都トレーニングセンターの整備等、新たなスポーツ交流基盤の整備が進むとともに、トライアスロン、ロードレース、マラソン等全国規模のスポーツ大会を開催
- 管内の平成 26 年観光入込客数は、前年比ほぼ横ばいの 599 万人（うちスポーツ観光人口 54 万人）、観光消費額は前年から 9%増の 110 億円となっている。

[課題]

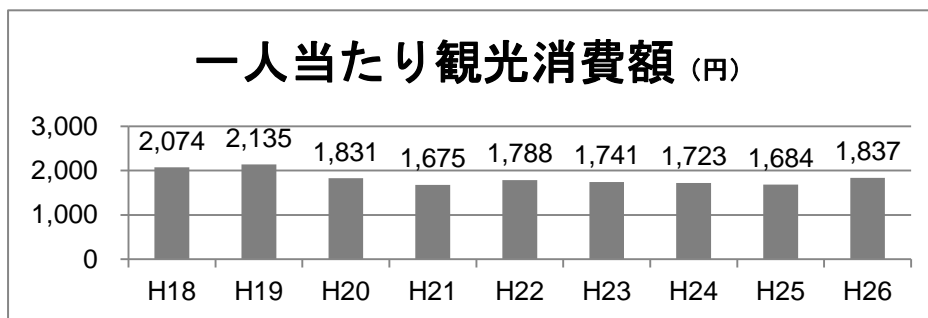
- ☆ 京都スタジアム（仮称）の建設や京都トレーニングセンターの整備等、交流基盤の整備が進む中、豊かな自然環境と食、アウトドアスポーツ等スポーツ振興を結びつけ、地域の観光ビジネスにつなげる必要がある
- ☆ 外国人観光客のさらなる誘客増を目指した取組の展開や新たなターゲット地域への観光情報の発信・PR
- ☆ 新たな観光ルートの開発・商品化
 - ・ 伝統行事の観光素材としての再活用、隠れた観光資源の発掘、新国定公園指定等を活用した滞在型観光の推進
 - ・ 京都丹波観光プランコンテストの開催



資料：京都府観光入込客調査報告書 □施策指標（新計画）

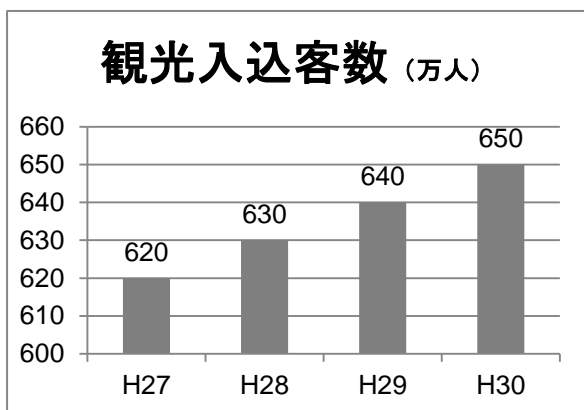


資料：京都府観光入込客調査報告書 ◆統計データ



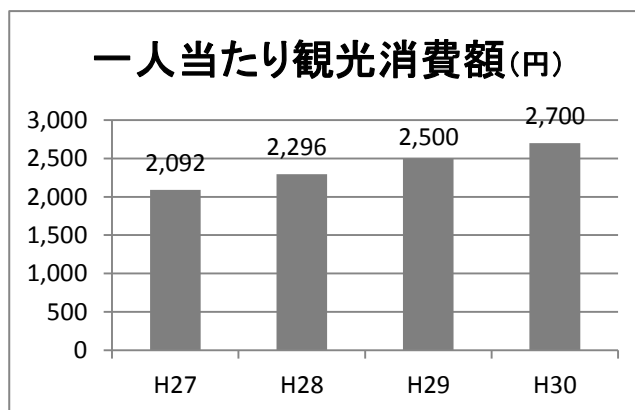
資料：京都府観光入込客調査報告書 □施策指標（新計画）

(参考) 新たな南丹地域振興計画の関連指標の状況



資料：京都府観光入込客調査報告書（実績）をもとに、目標値を推計

□施策指標（新計画）



資料：京都府観光入込客調査報告書（実績）をもとに、目標値を推計

□施策指標（新計画）

(2) 前年度の主な取組状況

基本方向 ■3つの京都、みやこ構想関係		平成26年度の主な取組と進捗状況
① 安心・安全で次世代へつなぐ「京都丹波」づくり	安心・安全で住みやすい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 管内市町、関係機関と連携して「原子力総合防災訓練」を実施(11月24日)。また、環境放射線調査車による年4回の測定など放射線監視体制を強化。 南丹広域振興局「新型インフルエンザ対策マニュアル」の見直しに取り組むとともに、「口蹄疫対策マニュアル」による図上訓練を実施するなど体制を強化。 府民公募型整備事業等を活用し、通学路の整備を行うことにより、交通安全対策を推進。
	人権の尊重と自立と協働による思いやりと信頼のきずなづくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域力再生交付金のスタートアップ講座を開催するなど、南丹パートナーシップセンターを拠点とした取組の実施 地域力再生プロジェクト交付金を通じた支援の実施(115件、31,564千円) 行政と協働したプラットフォーム事業(15件)を実施するなど、地域活動団体等との協働による地域づくりの推進
	明日の「京都丹波」を担う人づくり	<ul style="list-style-type: none"> 「きょうと子育て応援パスポート事業」協賛事業として、親子で酪農体験・牛乳工場見学を実施 キッズ駅伝、南丹美術工芸教育展、教育と土木のコラボ事業を実施
	地域に伝わる豊かな自然や歴史・文化をいかした地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 「食」と「文化」をテーマにした「京都丹波EXPO inかめおか」の開催(1.5万人来場) 管内7つの道の駅で「七彩(なないろ)スイーツ」を開発・販売するなど、京都丹波ならではの特産品づくりの推進 「京都丹波・写ガール隊」(大学・市町と連携)や「Amazing Kyoto Tamba～世界と繋がる京都丹波～」(京都府名誉友好大使等と協働)によるSNSを通じた魅力発信を行うなど、「京都丹波」ブランド化に向けた“見える化”事業の展開
	環境保全の取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 管内市町の小学生を対象とした「未来っ子温暖化防止授業」を地球温暖化防止活動推進員と共同で実施
② ものづくり産業の振興と豊かな食料、資源等をいかした「京都丹波観光」の展開	■「京都丹波」の強みをいかしたものづくり拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> 新光悦村活性化推進プロジェクト会議の開催(3回) 新光悦村秋まつりの開催(1回) 新規企業誘致、既立地企業の増設支援などものづくり拠点の整備を推進
	■企業人材の育成、雇用の確保を含めた経営環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 商工会・商工会議所等との連携のもと、現地現場において、中小企業者の経営課題を見出し、寄り添い支援を展開(企業訪問(110回)、補助事業制度説明会の開催(3回)) 南丹高校総合学科テクニカル工学系列の開設(平成27年4月)に向け、南丹高校と連携し、地元中学生にもものづくりに対する興味の醸成(ものづくり教室・オープンキャンパスの開催支援(3回)、企業からの講師派遣(3回))
	「京都丹波」ならではの観光サービススタイルづくり	<ul style="list-style-type: none"> 京都丹波観光協議会(2市1町)、観光協会と連携したキャンペーンの実施 ツーリズムEXPOジャパン、板橋区、草津PA、東京都庁、名古屋まつりでの観光キャンペーン等 首都圏関西圏旅行会社営業3回 「大丹波連携推進協議会」(中丹・南丹局、兵庫県丹波県民局)開催、統一広報「大丹波観光マップ」の発行、ツーリズムEXPOジャパン参加 インバウンド観光推進 管内インバウンド受入団体情報交換会実施 台湾での旅行会社商談会の開催、ファムトリップ対応(フランス、タイ、台湾等) 観光情報発信、PR誌の制作 「京都再発見」「クールスポット」、外国語版冊子2種類、スポーツ観光パンフ「スポーツ三昧」 京都丹波の彩り～おでかけインデックス～「京都丹波ドライブマップ」の制作 京都丹波観光甲子園の開催

基本方向 ■3つの京都、みやこ構想関係		平成26年度の主な取組と進捗状況
③「地産地消」の推進と「山すそ興し」など“きずな”の深まる地域づくり	■「地産地商」の推進	・南丹アグリネットのサロンの開催等により、会員数が拡大(89会員) ・マッチングの強化により、農商工連携応援ファンドを活用した新商品の開発への取組が5件実施された
	■「山すそ興し」など、“きずな”の深まる地域づくり	・集落訪問による「山すそ興し」活動支援の取組を推進(モデル4集落) ・山すそ(中山間)地域住民と周辺都市住民参加による「研究大会」の開催
	■地域ぐるみで共に育てる「京都丹波」の農林畜産物の振興	・京都丹波の農林畜産物を府民に安定的に供給するため、地域ぐるみでともに育てる環境づくりを推進。「京夏ずきん」の作付拡大等により戦略作物の面積が増加、直売所数の増加、大型化等により、売上額が増加。㊵16.9億円→㊶18億円 ・おいしい食の応援隊により、農産物の生産振興、販売促進、所得向上を図り、地域活性化を推進 (農作業ボランティアへの消費者参加者数 415人→548人)
④だれもが健やかに暮らし、支え合う「京都丹波」づくり	障害のある人が持つ力を発揮し希望を持って暮らすことのできる地域の実現	・障害者の新規就労支援、職場定着支援 ・障害者雇用への理解を促進するため、企業経営者等を対象とするセミナーを開催 ・ほっとはあと製品の共同開発、販売促進 ・事業所における平均工賃の向上に向けた取組の推進
	すべての親子や「すくすく・いきいき・のびのび」育ち合う地域づくり	・保健・医療・福祉関係者のチーム支援による子育て家庭の孤立化と虐待未然防止 ・在宅療養児の支援体制を整備するために、関係者のネットワークを強化すると共に、保護者交流会を実施 ・幼児期から就学後支援のスムーズな移行に向け、支援研修会を実施 ・学童期の発達障害児を対象に、社会性を習得する訓練(SST)を実施
	住み慣れた地域で安心して暮らせる「福祉安心型」健康長寿社会の推進	・管内医療機関等関係機関との協働による地域包括ケアシステムの構築 ・医療・看護・介護の多職種が広く参加する「なんたん在宅医療連携研究会」を開催 ・がん患者等が安心して在宅療養できる地域支援体制の整備 ・地域において健康づくりに取り組む自主活動グループへの支援 ・小・中学校で防煙(がん予防)教室や、生活習慣病予防のために事業所で出前講座を実施
⑤内外の交流基盤を整備する「京都丹波」の郷づくり	明日の「京都丹波」の礎を築く交流の郷づくり	・緊急輸送道路である国道372号(湯の花工区)、亀岡園部線(保津南工区)が完成 ・保津川かわまちづくり計画の交流拠点となるさくら広場が完成。
	交流の基盤となる道路ネットワークの整備	・京都縦貫自動車道の整備が進捗(H.27.7.18全線開通予定) ・国道423号(法貴バイパス)、郷ノ口余部線(宇津根橋)、綾部宮島線(脇谷バイパス)において、測量、設計に着手
	安心・安全な暮らしを支える洪水・土砂災害対策の推進	・桂川、雑水川、千々川等で河川改修を推進。 ・園部川、本梅川等で災害復旧に併せて堤防強化、河積拡大等の改良工事を実施。 ・土砂災害警戒区域等の指定を推進。(指定の割合は69%に拡大)
	豊かな自然環境の保全と快適で人にやさしい地域づくり	・さわやかボランティア・ロードの登録 40団体、南丹ふるさとの川愛護事業の登録 59団体に増加。

(3) 数値目標に対する施策指標の達成状況

施策指標		進捗率 (%)	進捗率グラフ
			0% 25% 50% 75% 100%
地域振興計画			
南丹			
1	NPOをはじめとする地域活動団体の情報・交流拠点である「南丹パートナーシップセンター」への登録団体数	85.7	
2	「キッズふれあい駅伝」や文化の取組を通じた幼小中高大連携の取組件数	100.0	
3	子どもの社会体験事業実施件数	100.0	
4	市町や地域団体、学校等と連携して取り組む文化事業数	100.0	
5	河川・道路美化活動参加者数	108.2	
6	ものづくり企業を紹介するとともに、雇用促進を図る「ものづくり産業就業フェア」への参加者数	155.0	
7	広域観光コースの提案、商品化支援	200.0	
8	京都丹波地域への観光入込客数	32.0	
9	アグリベンチャー企業の立地数	0.0	
10	アグリベンチャー企業による農産物の栽培面積	29.4	
11	田畑と産地の境界を生産エリア等に積極活用する「山すそ興し」の取組箇所	155.6	
12	新規戦略作物(「京かんざし」、黒大豆エダマメ、丹波くり)の栽培面積	36.4	
13	農産物直売所の売上額	233.3	
14	新たな「オリジナルブランド」の開発	100.0	
15	「就業・生活支援センター」と連携して一般就労に結びついた障害のある人の数	137.4	
16	低体重で出生した乳幼児の発達を、医師・保健師・看護師・栄養士からなるチームで支援する割合	100.0	
17	子育て支援サークルや企業、市町等と連携して子育てを応援するコラボ事業に参加する企業・商店街数	110.0	
18	胃がん健診受診率	7.9	
19	肺がん健診受診率	31.4	
20	大腸がん健診受診率	33.7	
21	子宮がん健診受診率	44.3	
22	乳がん健診受診率	36.3	

※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は斜線としている。

(4) 前年度の課題と主な取組状況

ベンチマークレポート [2014年9月] の「今後の課題」について、平成26年度2月補正予算及び27年度当初予算で計上した主な事業は次のとおり

① 南丹地域振興計画

分野	今後の課題	主な事業等
【安心・安全で次世代へつなぐ「京都丹波」づくり】		
安心・安全で住みやすい地域づくり	◇原子力総合防災訓練や住民避難訓練を通じて課題の明確化及び市町等関係機関と連携した改善 ◇災害対応力の向上	災害に強い京都丹波づくり事業
人権の尊重と自立と協働による思いやりと信頼のきずなづくり	◇自立型団体へ転換させるような団体育成支援事業等の展開	オール京都丹波の「きずな」づくり事業
明日の「京都丹波」を担う人づくり	◇地域に愛着と誇りを持ち、地域の良さを発信できる人材育成事業の施策横断的な実施	
地域に伝わる豊かな自然や歴史・文化をいかした地域づくり	◇京都丹波地域の府民、団体、学生、市町等と一緒に「京都丹波」の地域ブランド展開	京都丹波の「見せる化」推進事業 「食」や「森」をいかした京・里山のおもてなし事業
環境保全の取組の推進	◇河川・道路の愛護団体数の増加及びこれら地域活動団体との連携強化 ◇地球温暖化防止活動推進員等の最新知見の習得	
【ものづくり産業の振興と豊かな食材、資源等をいかした「京都丹波観光」の展開】		
「京都丹波」の強みをいかしたものづくり拠点の整備	◇世界の文化財保存・修復とその人材育成機能の具体化 ◇ものづくり産業支援体制の充実	京都丹波・元気で知恵ある経営を实践する企業サポート事業
企業人材の育成、雇用の確保を含めた経営環境の整備	◇関係機関の役割分担を踏まえた地域雇用の促進 ◇企業ニーズが高い地元でのものづくり人材の育成・確保	
「京都丹波」ならではの観光サービススタイルづくり	◇スポーツ観光の推進 ◇インバウンド誘致の推進	広域観光推進事業 「知ってもらい」「来てもらい」「楽しんでもらう」京都丹波の賑わいづくり事業 京都丹波まるごとスタジアム化推進事業
【「地産地消」の推進と「山すし興し」など“きずな”の深まる地域づくり】		
「地産地消」の推進	◇農業参入希望企業や農商工連携を希望する農業者・企業の情報を把握した的確なマツ	地域を支える農畜産業経営体育成事業

	<p>チングの強化</p> <p>◇生産者と加工流通業者の連携による丹波くりの加工品作成</p>	
「山すそ興し」など、「きずな」の深まる地域づくり	<p>◇「京都丹波・食と森の交流協議会」活動の恒久化に向けた、法人化、安定財源の確保</p>	<p>京都丹波ゆったり・おもてなし創生事業</p> <p>ふるさと「絆」づくり事業</p>
地域ぐるみで共に育てる「京都丹波」の農林畜産物の振興	<p>◇京野菜等の相対取引の推進など、計画的な生産・出荷体制の構築</p> <p>◇都市農村が隣接する強みを活かした販路拡大</p> <p>◇直売所のPR強化</p>	<p>地域を支える農畜産業経営体育成事業</p> <p>京都丹波地域特産物振興事業</p>

【だれもが健やかに暮らし、支え合う「京都丹波」づくり】

障害のある人が持つ力を発揮し希望を持って暮らすことのできる地域の実現	<p>◇障害者就労の新たな職場開拓、職場定着</p> <p>◇事業所における経営力、販売力向上のための専門家による指導やセミナー等の開催</p> <p>◇アール・ブリュット美術館の活動支援</p>	<p>ぬくもり京都丹波販売促進事業</p>
すべての親子や「すくすく・いきいき・のびのび」育ち合う地域づくり	<p>◇支援の必要性を市町行政や関係医療機関と共有し、対象者の潜在ニーズに協働し対応</p> <p>◇地域ぐるみで子育て家庭を応援する交流事業の実施</p> <p>◇学童期の発達障害児に対する訓練（SST）の実施</p>	<p>オール京都丹波で進める「京都丹波ストップ少子化」推進事業</p>
住み慣れた地域で安心して暮らせる「福祉安心型」健康長寿社会の推進	<p>◇医療、保健、福祉、介護の様々な分野に所属する人たちの顔の見える関係づくりの推進</p> <p>◇防煙教室の指導者育成やがん予防の啓発</p> <p>◇「緩和ケア研究会」を通じて、がん患者等を支援していく地域づくりの推進</p>	

【内外の交流基盤を整備する「京都丹波」の郷づくり】

交流の基盤となる道路ネットワークの整備	<p>◇国道423号法貴バイパス及び綾部宮島線脇谷バイパスの計画策定に向けた調査の実施及び関係機関との調整</p> <p>◇郷ノ口余部線宇津根橋等の工事着手に向けた地元調整</p>	
安心・安全な暮らしを支える洪水・土砂災害対策の推進	<p>◇近年のゲリラ豪雨に伴う出水から、人命・家屋等の財産を守る河川改修が急務</p> <p>◇土砂災害警戒区域等で、速やかな市町村の警戒避難体制整備に向けた体制づくり</p>	
豊かな自然環境の保全と快適で人にやさしい地域づくり	<p>◇府民協働等の活動において、愛護団体の高齢化が進む中で、幅広い世代の取り込み</p>	<p>府民協働ですすめる美しいみち、かわづくり事業</p>

中丹地域振興計画

(1) 今後の課題

今後の課題 1

暮らしの安心・安全の確保

- 中丹地域においては、平成16年台風23号、平成25年台風18号、平成26年8月豪雨等により、10年間に3度の甚大な災害が発生した。
- 隣接県に立地する原子力発電所のPAZ(5km)・UPZ(30km)圏内となっており、東日本大震災や福島第1原子力発電所事故により、地震や原子力災害をはじめとする災害への万全な備えの必要性を再認識

[課題]

☆ 安心・安全な暮らしを支える基盤の整備

由良川の浸水や内水による被害の解消に向けて、国の由良川緊急治水対策との連携をはじめとした道路や河川の整備、土砂災害対策、治水事業等を引き続き推進することが必要である。

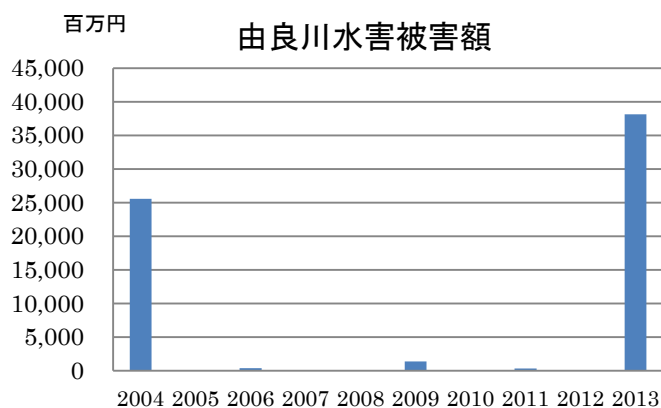
☆ 府民とともに取り組む防災・減災

これまでの大規模災害の経験を教訓とし、管内3市との連携強化、地域の避難活動等を円滑に行うための人づくりやハザードマップの作成等の取組の支援を引き続き進めていくことが必要である。

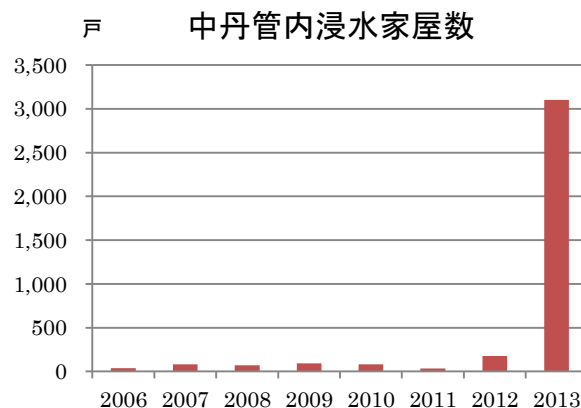
☆ 危機事象に即応する危機管理体制の強化

原子力災害時の広域避難計画の充実や訓練の実施、大規模災害の発生に備えるとともに、新たな感染症や家畜の伝染病に対応するため、関係機関の連携強化が必要である。

統計データ



資料:水害統計(国土交通省)



資料:水害統計(国土交通省)

今後の課題 2

いきいき・健やかに暮らせる環境の整備

- 中丹地域の合計特殊出生率は府内では比較的高いものの、出生数は2010年の1,796人から2013年は25人減少して1,771人になるとともに、同時期の社会動態人口も減少幅が拡大するなど、人口の減少が続いている。
- 人口、出生数の減少と相まって、高齢者比率が2000年の23.2%から2010年には27.48%となるなど、少子高齢化が進行している。
- 平成24年に「中丹地域医療再生計画」が策定され、医療機関の連携により、医療を充実させる取組が進められている。

[課題]

☆ 安心して子供を産み・育てることができる環境の整備

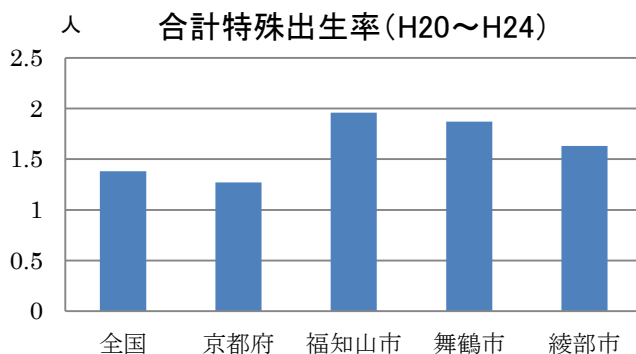
少子化の進行に歯止めをかけるためにも、引き続き育児の負担や不安の軽減が必要であり、「ほめかた絵本」の活用をはじめ子どもの特性に応じた育児支援や、児童虐待の未然防止などの子育て支援とともに、結婚・妊娠・出産と一体となった切れ目のない支援、さらに定住対策も含めた総合的な少子化対策に取り組んでいく必要がある。

☆ 医療・介護・福祉の充実と健康づくりの推進

「中丹地域医療再生計画」の着実な推進による病院間連携の促進や「京都府北部福祉人材養成システム」等による、北部地域での介護・福祉人材の養成と質の高い介護サービスの提供を進めるとともに、高齢者がいきいき元気に活躍する中丹健康づくりを、市や関係機関と連携して推進する必要がある。

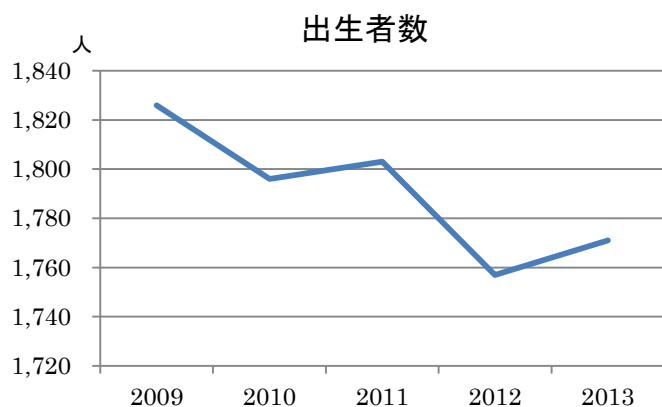
また、「ほっとはあと製品」の受注拡大等や、障害のある人の社会参画の拡大を図っていく必要がある。

統計データ

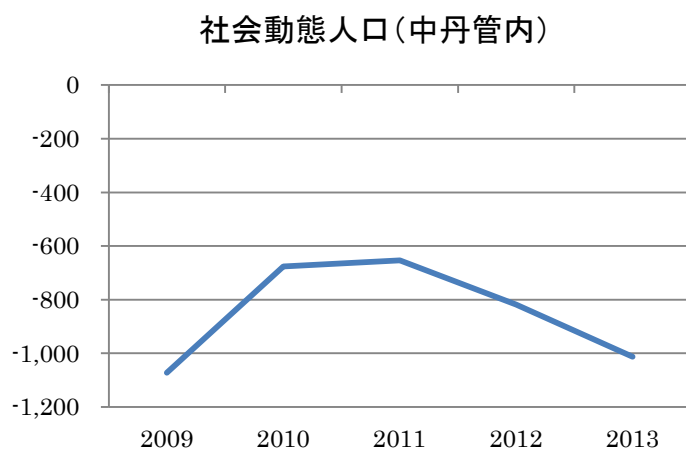


資料:人口動態統計特殊報告(厚生労働省)

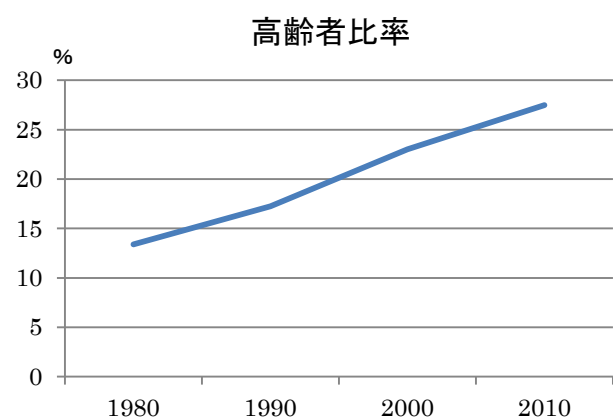
統計データ



資料: 住民基本台帳



資料: 住民基本台帳



資料: 国勢調査(総務省)

産業の振興と定住の促進

- 中丹地域は、森林面積が77%を占めており、森林資源は豊富であるが、減少傾向にあるものの有害鳥獣の被害が問題となっている。
- 農林水産物に関しては、万願寺甘とうや丹後とり貝などのブランド商品の生産拡大が図られているが、担い手や後継者が不足している。
- 産業の担い手となる若年層の人口が減少している中、中小企業の事業者数も、減少してきている。
- 日本海側拠点港に選定された京都舞鶴港や舞鶴若狭自動車道・京都縦貫自動車道が全線開通し産業基盤の整備は進んできている。

[課題]

☆ 『森の京都』づくりの推進

森林・里山文化の発信や「丹州材」など森林資源の活用、都市住民等との交流ビジネスを促進し、『森の京都』づくりを推進していく必要がある。

☆ 農業・水産業の振興と魅力ある中丹の「食」づくり

ブランド商品をはじめとする農林水産物の生産拡大を図るため、農業・水産業の基盤整備や野生鳥獣害対策、多様な担い手の育成・確保を図る必要がある。また、ジビエの普及や地元食材を利用した新たな商品づくりなど、中丹の魅力ある「食」づくりの推進が必要である。

☆ 地域に根ざす中小企業等の育成・支援

「北部リサーチパーク（仮称）」を具体化し、人材の育成や産学公連携による新産業育成を進めるとともに、中小企業応援隊と連携した販路開拓や新商品開発を進め、創業・第二創業等を促進する必要がある。

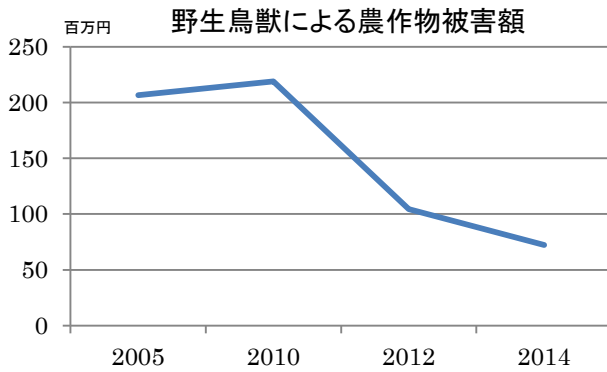
☆ 京都舞鶴港や高速道路網をいかした物流拠点の形成

「舞鶴港港湾計画」に基づく岸壁機能の強化や高速道路網の整備を活かし、日韓フェリー航路の開設等航路の拡充と併せ、対岸諸国と関西を結ぶ物流ネットワークの形成が必要である。

☆ 定住を促進するための環境整備

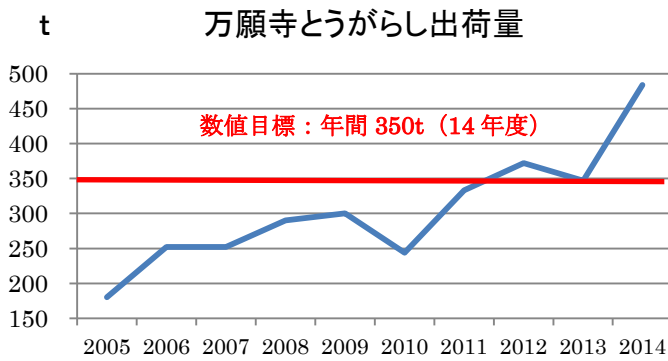
中丹地域から大都市圏への通勤・通学を可能とする取組を進めるとともに「北京都ジョブパーク」による就業支援や移住コンシェルジュによる移住支援等により、雇用の確保も含めた総合的な産業の振興と一体となった定住支援を図る必要がある。

統計データ

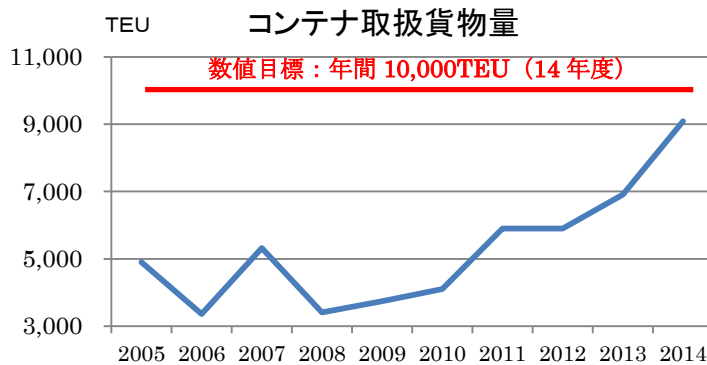


資料: 京都府農産課調べ

施策指標



資料: JA京都にのくから聞き取り



資料: 京都舞鶴港港湾統計(京都府)

今後の課題 4

交流人口の獲得・拡大と地域の活性化

- 中丹地域では、舞鶴若狭自動車道や京都縦貫自動車道の全線開通や、京都舞鶴港のふ頭整備など、交通・物流基盤の整備が進み、人・ものの流れが飛躍的に向上することが見込まれる。また、近年は外航クルーズ船の寄港も大幅に増加している。
- 「海の京都」構想により、北部7市町を全国有数の観光圏とするために、新たな観光資源の開発や、地域資源を活用した新しい観光スタイルの推進、情報発信の強化などの取組を行っている。
- 「海の京都」をはじめとする観光振興の取組や交通基盤の整備により、観光入込客数が平成26年度に371万人に達するなど、着実に増加してきている。

【課題】

☆ 『海の京都』づくりの推進等による広域観光の推進

「海の京都観光圏」の滞在プログラム充実等による観光集客力の向上、クルーズ客船の更なる誘致、「スポーツ・トレイル」の推進や情報発信の強化等により、更なる交流人口の拡大や観光消費額の増大を図っていく必要がある。

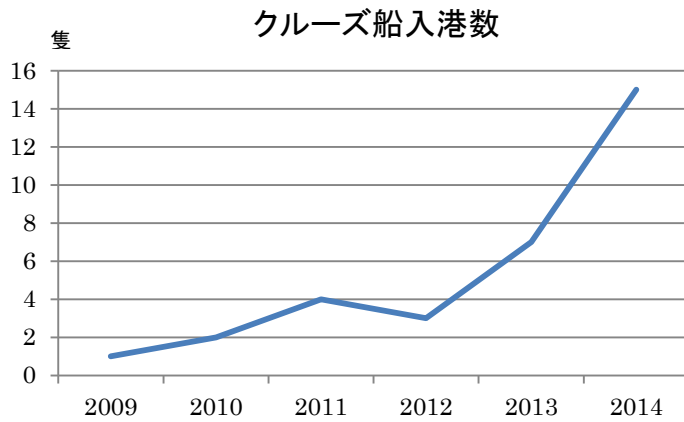
☆ 「人・もの・情報」の交流・連携基盤づくり

高速道路や地域振興の基盤となる道路などの交通基盤の整備を一層進めるとともに、JR線・京都丹後鉄道線やバス等地域交通の更なる利便性向上を図る必要がある。

☆ 過疎・高齢化が進む集落の維持・再生

「里の仕事人」や「里の公共員」により集落の課題解決に向けた取組を支援するとともに、農家民宿の利用拡大など、都市農村交流の活動を進めていく必要がある。

統計データ

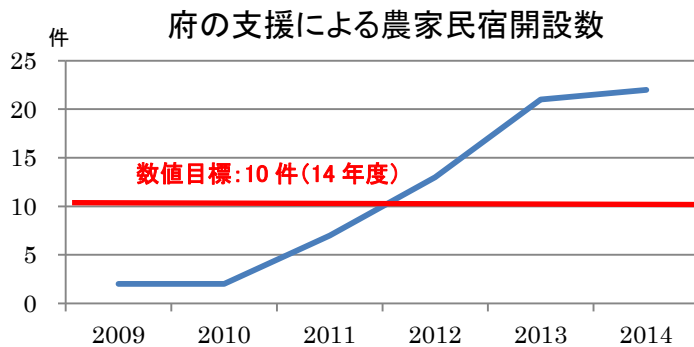


資料: 中丹広域振興局調べ

施策指標



資料: 観光入込客数(京都府)



資料: 事業実績

今後の課題 5

共生・協働のまちづくり

- NPOや地域活動団体が地域課題の解決に向け様々な活動を行う中、「一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構」が設立されたことにより、大学との連携強化が図られ、産官学民の連携体制強化が図られている。
- 中丹地域においては、小中一貫校・中高一貫校等の多様なニーズに対応できる教育環境の整備が進められている。
- 地域の自然や歴史、伝統に根ざした個性豊かな地域文化が受け継がれている。

(課題)

☆ 人権の尊重と多様な主体による地域社会参画

関係機関と連携して人権が尊重される社会づくりを進めるとともに、産官学民連携や地域力再生団体の支援等により、地域住民自らが行う地域課題解決へ向けた取組を進めていく必要がある。

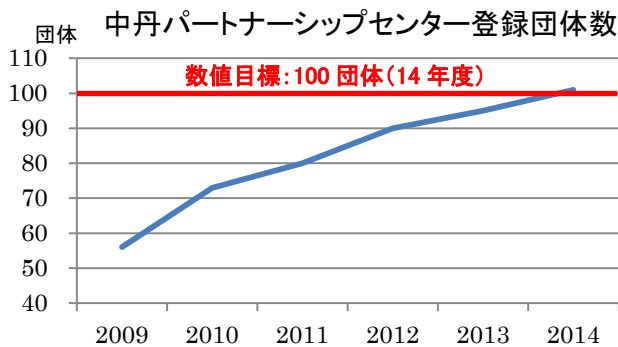
☆ 郷土を愛し、未来を担う人材の育成

多様なニーズを踏まえた上で、一人一人の個性や能力を伸ばす教育環境の整備を進めていくとともに、社会全体で子どもを育てていく取組が必要である。

☆ 地域の自然・環境・文化をはぐくみ、平和を愛する風土づくり

国定公園等の豊かな自然環境の保全や環境負荷低減のための取組を進め、地域文化活動への支援を行うとともに、「世界連邦都市宣言」を行った管内3市等との連携により、平和を大切にす環境づくりを進めることが必要である。

施策指標

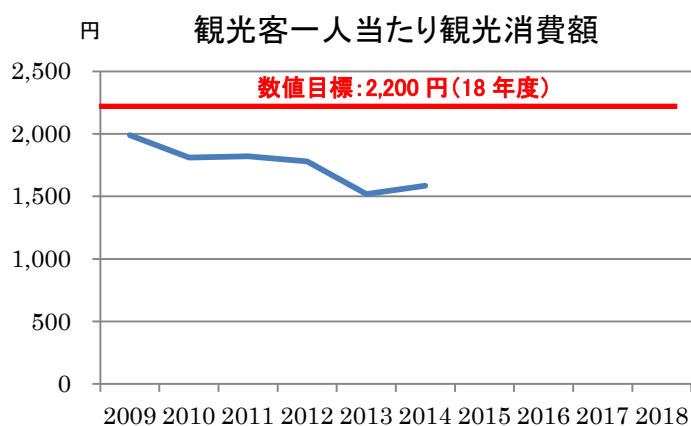


中丹広域振興局調べ

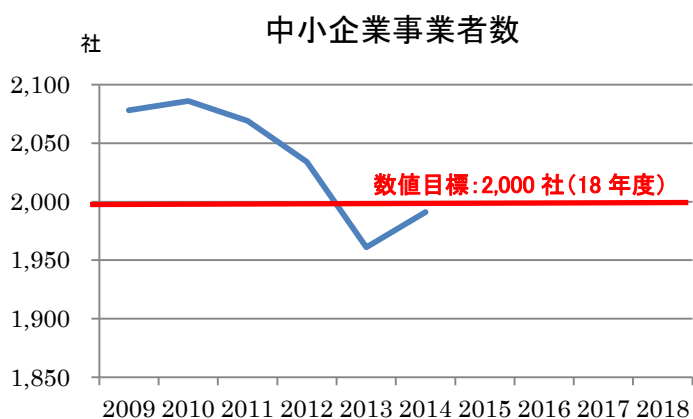
(参考) 新たな中丹地域振興計画（期間：2015～2018年度）の関連指標の状況



資料:観光入込客数(京都府)



資料:観光消費額(京都府)



資料:商工会議所等調べ

(2) 前年度の主な取組状況

基本方向 ■3つの京都、みやこ構想関係		平成26年度の主な取組と進捗状況
① 人にやさしく、安心・安全で住み続けたいまちをつくる	地域で支える子育て・子育ての推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ほめてしつける育児のコツの普及を図るとともに発達障害児等、子どもの心の健康保持向上を推進 ・保育園や幼稚園、小学校の保護者を対象に「楽しくなる育児講習会」の開催(26回 参加896人) ・保育士、幼稚園教諭等を対象に「発達障害児支援リーダー養成研修会」の開催(リーダー養成:43人) 等 ○児童虐待の早期発見・未然防止を推進 ・児童虐待防止研修会を実施(2回 参加175人) ・11月のオレンジリボンキャンペーンを中心に、児童虐待防止等の啓発活動を実施(6回) 等
	医療・介護・福祉の連携と生きがいがづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○中丹地域医療再生計画に基づく医療提供体制の充実・強化に向けた取組を推進 ○京都府北部での介護・福祉人材の確保に向けた「京都府北部福祉人材育成システム」の取組を推進 ・2015年4月の養成校の開設(舞鶴市内)、現任者研修の実施(福知山市内)に向け支援 ○ほっとはあと製品の受注拡大に向けた取組を推進 ・事業所職員を対象とした販路拡大、マーケティングに係る研修会の開催(6回) 等 ○高齢者がいきいき元気に活躍する中丹健康づくりを推進 ・体験型の高齢者元気づくりメニューの普及(3箇所) ・府民を対象とした認知症予防講演会等の開催(2回 参加200人) 等
	安心・安全な暮らしの確保と生活基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○災害に備えた人づくりや市との連携強化、府民の防災意識の向上と地域づくりを推進 ・災害時の公衆衛生対策のためのマニュアルを作成及び研修会を開催(3回) 等 ○由良川の総合的な治水対策事業との連携をはじめ、防災・減災対策を推進 ・私市大江線(道路改良):工事実施中 ・宮川(河川改修):工事実施中 等
② 森・里・川・海の自然に恵まれた環境をつくる	環境にやさしい生活スタイルと環境ビジネスづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ゼロエミッションの取組による中小企業等の廃棄物減量化を推進 ・廃棄物排出ゼロに向けた取組を推進するため、中小企業等を対象に「kyo(きょう(京・今日))のゼロエミの環(わ)講習会」を開催(参加事業所:74事業所、参加人数:98人) 等 ○放置竹林の整備等に取り組む人材を育成 ・「竹のしごと人」育成セミナーを開催(5回、受講者:41人) 等 ○地域が取り組む竹林整備等の取組を支援(17団体)
	国立公園・里山・由良川などの自然との共生と活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○有害鳥獣の捕獲、防除、適正処理及び有効活用を推進 ・電気・金網柵の設置・管理等の研修会の開催(15回) ・防護柵未整備地区への防護柵の新設(209km) ・捕獲されたシカやイノシシの肉を地域資源として有効活用するため、飲食店が取り組むジビエ料理のメニュー開発を支援 ・ジビエ料理講習会(2回)、食材提供による試作支援(延べ42店舗) ・消費者等へのジビエ料理の魅力発信 「京都@中丹ジビエフォーラム」(参加者数約150名)、京都@中丹ジビエフェア(28店舗、販売数899食)、「中丹食べ歩きマップ」の作成(10,000部) 等 ○低コスト作業道の整備など、森林施業の低コスト化を支援 ○住宅資材の利用拡大に向けた取組を推進
	■暮らしと調和した農山漁村づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○過疎化・高齢化が進む集落の維持・再生に向け、「命の里」の再生活動やふるさと自主企画等への支援を通じ、地域住民が主体的に取り組む活動を支援 ・「命の里」事業の実施(12地区) ・ふるさと保全自主企画への支援(12団体、参加678人) ○管内3市が運営する空き家バンクを活用して新規定住者を確保(移住者68人) ・田舎暮らし希望者が中丹地域の魅力や暮らしぶりを体感できる体験ツアーを実施(3回、参加者数20名) 等 ○農林漁家体験民宿ワンストップ相談窓口を設置するとともに、説明会・講習会等を実施(1回開催、新規開業3軒)
③ 豊かな地域資源の活用とものづくりが織りなすブランド拠点をつくる	■農林水産業の担い手育成と食のブランド力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の担い手、農地の利用計画や産地づくりについて、将来めざすべき姿を明確にする「京力農場プラン」の作成を支援 ○ブランド商品の生産を振興 ・丹波くりの消費拡大のため、消費者ニーズにあった新品種「ぼろたん」モデル園を整備(1ha、7ヶ所) 等 ○兵庫県など丹波地域に関係する機関と連携して丹波ブランドを発信 ・大阪市等の百貨店で大丹波味覚フェアを開催(2箇所 延べ14日間) ・高速道路のSAで大丹波マルシェを開催(1回 延べ2日間) ○直売所の販売促進支援や地産地消の推進 ・直売所が連携してスタンプラリーを実施(応募者総数88人) ・中丹ならではの旬の地元食材を使用した「こだわりメニュー」の発掘 ・イベントでの料理販売(3回)、こだわり料理を掲載した「中丹食べ歩きガイド」の作成(10,000部)

基本方向 ■3つの京都、みやこ構想関係		平成26年度の主な取組と進捗状況
③豊かな地域資源の活用とものづくりが織りなすブランド拠点をつくる	■ものづくり人材の育成と新ビジネスの創出	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業応援隊等と連携して中小企業のイノベーションや新たな起業を支援 ・経営革新中小企業等の認定・助成(24件) ・中小企業応援隊等による企業訪問(1,308社) ・中小企業応援隊と連携した新ビジネス創出活動を行う企業グループへの事業化支援や事業者向けセミナーの開催(5回) ○「北京都ものづくりパーク」における人材育成や京都工芸繊維大学と連携した産学公連携等の機能整備を推進 ・京都工芸繊維大学によりCOC拠点(綾部地域連携室)を設置
	■京都舞鶴港・ものづくり拠点をいかした経済交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○日本海側拠点港「京都舞鶴港」の機能強化に向けて、国直轄工事(岸壁70m整備)と連動したふ頭用地、多目的クレーンを整備(平成26年度～、平成27年度:仮締切護岸工完了、多目的クレーン整備着手) ○舞鶴国際ふ頭と西港地区を直結する臨港道路(和田下福井線)の整備を推進 ○雇用創出につながる新たな企業の立地を促進(企業立地数22件(累計)) ○京都舞鶴港におけるコンテナ取扱量増加に向け集中的なポートセールス活動を推進(貨物取扱量9,082TEU・過去最高)
④信頼の絆(きずな)と交流・連携により、にぎわいあふれるまちをつくる	□人権の尊重と多様な主体による地域社会参画	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民が主体となった地域力再生活動を支援 ・地域力再生プロジェクト支援事業交付金による活動支援(245団体・うち、被災地支援:193団体) ○中丹パートナーシップセンターにより、NPO等地域団体の活動を支援 ・情報発信、NPO実務基礎等の講座を開催(5回) ・地域団体・NPOの基盤強化に向けた交流会や若者をターゲットにした交流会の開催(6回)等
	■人でのにぎわう広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○京都『ゆらりー』サイクリングロードの整備を推進 ・全体計画:ブルーライン100km、キロポスト100箇所・100km、案内板8箇所(2015年度完了予定) ○交流人口の獲得・拡大に向け「海の京都」事業等を推進 ・自転車やカヌー、山登り等による移動手段そのものを楽しむ新しい観光スタイル「スポーツ・トレイル」を推進 「スポーツ・トレイル」を手軽に楽しめるモデルコースを設定(5コース) 初心者向けカヌー体験イベントの実施(参加者46人) ・クルーズ客船の再寄港につなげる歓迎・おもてなし行事の実施(15回) ・兵庫県と連携した大丹波観光推進委員会の事業により、丹波広域観光情報を「ツーリズムEXPOジャパン」出展等で旅行業者、マスコミ関係者等へ情報発信等
	「人・もの・情報」の交流・連携基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○全国各地への広域的な交通連携強化に重要な役割を果たす高速道路や直轄国道の整備を推進 ・舞鶴若狭自動車道4車線化(福知山IC～舞鶴西IC) ・国道9号、国道27号の整備推進等 ○中心市街地の活性化や地域振興・地域生活を支援するための道路整備を重点的に推進 ・小倉西舞鶴線(白鳥トンネル):設計実施中 ・福知山綾部線(綾部市高津町)歩道設置:工事完了 ・小坂青垣線(福知山市夜久野町):事業完了等 ○KTRの利用促進に向けた取組を推進 ・観光型車両あかまつ、あおまつに加え、平成26年5月からくろまつを導入
⑤将来を担う人をはぐくみ、地域の未来につながるしくみをつくる	郷土を愛して将来の夢に向かう教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○中丹管内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校において、ことばの力を育むため読書活動を推進(年間読書冊数175万冊) ○子ども同士の絆を深め、ふるさとや古典を学び地域を愛する心を育てる機会として、「由良川元気サミット&中丹府立学校文化祭」を合同で開催(参加者2,500人) ○小学校、中学校、府立学校間の連携と交流を推進することにより、児童生徒の学力向上、豊かな心を育む教育の充実を図る取組を推進
	■豊かな自然と歴史にはぐくまれた地域文化力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○中丹地域における文化活動の活性化 ・府民の府政に対する理解を深めていただく「中丹“絆”フェスタ」を開催(参加8,000人) ・中丹太鼓おもてなし隊の活動 クルーズ客船の歓迎行事等における演奏5回 ・「海の文化祭(海フェスタ関連事業)」において、中丹ならではの文化(地域に根付いたJAZZ、和太鼓、ダンス)を発表 発表団体数31団体 ・中丹地域のアマチュアを中心とした文化芸術のフェスティバルである「第28回中丹文化芸術祭」の開催を支援(参加6,449人)
	平和を愛する国際的な風土づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○舞鶴市の引揚記念館がユネスコの世界記憶遺産登録の国内候補に選定 ○管内3市と設置する「課題解決に向けた連携会議」や一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構と連携を通じて、地域における課題解決に向けた取組を推進し、局職員と管内3市職員との共同研修を実施

(3) 数値目標に対する施策指標の達成状況

施策指標		進捗率 (%)	進捗率グラフ	
			0%	25% 50% 75% 100%
地域振興計画				
中丹				
1	育児負担感の強い親の割合	72.5		
2	間伐材出材量 ★基準値: 6,550m3 (直近3カ年平均)	546.2		
3	狩猟免許取得数	75.0		
4	「里山再生」地域連携組織の設立数	100.0		
5	管内3市の定住窓口等における新規定住者数	72.0		
6	農家民宿数	250.0		
7	集落型農業法人の設立	260.0		
8	ブランド製品の生産拡大(万願寺とうがらし)	368.0		
9	ブランド製品の生産拡大(紫ずきん)	-54.3		
10	直売所販売額	212.5		
11	経営革新中小企業等の認定・助成	33.3		
12	コンテナ取扱貨物量	85.3		
13	外国定期航路	100.0		
14	企業立地数	110.0		
15	中丹パートナーシップセンター登録団体数	102.3		
16	観光入込客数	133.3		
17	中丹管内の幼児から高校生までの年間読書冊数			

※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は斜線としている。

(4) 前年度の課題と主な取組状況

ベンチマークレポート [2014年9月] の「今後の課題」について、平成26年度2月補正予算及び27年度当初予算で計上した主な事業は次のとおり

① 中丹地域振興計画

分野	今後の課題	主な事業等
【人にやさしく、安心・安全で住み続けたいまちをつくる】		
地域で支える子育て・子育ての推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇発達障害児とその保護者に対応できる人材の育成 ◇舞鶴こども療育センターと連携した発達障害児等への支援 ◇少年たちの居場所や活躍の場づくり 	中丹少子化総合対策事業
医療・介護・福祉の連携と生きがいづくり	<ul style="list-style-type: none"> 限られた医療資源を最大限に生かすための病病連携、病診連携の推進 ◇京都府北部地域における介護・福祉人材の確保・育成に向けた3市や関係機関との連携強化 ◇売れる「ほっとはあと製品」づくりへの支援 	ほっとはあと輝き事業
安心・安全な暮らしの確保と生活基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◇台風18号災害を踏まえた由良川改修等と連携した道路・河川の整備推進 ◇ガイドラインに基づいた広域避難への支援 	災害に強い中丹地域づくり事業
【森・里・川・海の自然に恵まれた環境をつくる】		
環境にやさしい生活スタイルと環境ビジネスづくり	<ul style="list-style-type: none"> ◇廃棄物減量に対する企業の取組意欲の向上促進 ◇河川や親水公園の適切な維持管理と地域づくりの拠点としての活用推進 	中丹環境ネットワーク事業
国定公園・里山・由良川などの自然との共生と活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◇有害鳥獣の捕獲、防除、適正管理の推進と地域資源（ジビエ）としての活用推進 ◇森林経営計画の作成や森林施業技術の向上に向けた支援 ◇「丹州材」の利用拡大に向けた環境整備 	中丹ジビエ街道づくり事業 「丹州材」による木の家づくり促進事業
暮らしと調和した農山漁村づくりの推進 地域を彩る文化の育成と新たな創造	<ul style="list-style-type: none"> ◇集落の維持・自立に向けた住民の活動への支援 ◇農家民宿の戸数の確保と受入組織や体制の構築 ◇社会全体で農村地域や高齢者を支える機運の醸成 ◇移住希望者への的確な情報提供 	「中丹・里山の魅力」推進事業

【豊かな地域資源の活用とものづくりが織りなすブランド拠点をつくる】		
農林水産業の担い手育成と食のブランド力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◇「京力農場プラン」の作成や目標達成に向けた支援 ◇ブランド製品の生産基盤の強化と生産技術の向上 ◇丹波ブランド等の商品の付加価値向上に向けた支援 ◇直売所の魅力向上に向けた支援 	「丹波くり」ブランドアップ支援事業
ものづくり人材の育成と新ビジネスの創出	<ul style="list-style-type: none"> ◇中小企業応援隊との連携した新事業展開への支援 ◇新事業展開に向けた事業者の掘り起こしやマッチングの支援 	
京都舞鶴港・ものづくり拠点をいかした経済交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◇新たな航路の開設を目指した海外とのプロモーション活動等の継続や他港との連携強化 ◇集荷活動等のポートセールスの継続的な取組 ◇企業誘致促進と企業流出防止対策の推進 	
【信頼の絆（きずな）と交流・連携により、にぎわいあふれるまちをつくる】		
人権の尊重と多様な主体による地域社会参画	<ul style="list-style-type: none"> ◇専門家の派遣を通じた地域団体の課題解決への支援 ◇NPO等の活動の充実に向けた中間支援団体との連携強化や団体間の交流促進 	中丹パートナーシップセンター事業
人でにぎわう広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇「海の京都」事業を推進するための民間の取組への支援や市との連携推進 ◇プレジャーボートの適正利用に向けた環境整備 	「海の京都」スポーツ・トレイル推進事業
「人・もの・情報」の交流・連携基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◇広域高速道路交通網や生活道路等の着実な整備 ◇運行会社と連携した観光客誘客に向けた取組推進や地元自治体と連携した利用促進 	

【将来を担う人をはぐくみ、地域の未来につながるしくみをつくる】		
郷土を愛して将来の夢に向かう教育の推進	◇幼稚園や保育所等と連携した読書活動の推進 ◇「由良川元気サミット」を通じた地域への理解促進	「由良川元気サミット&中丹府立学校文化祭」開催事業
豊かな自然と歴史にはぐくまれた地域文化力の向上	◇地域の文化力の向上に向けた取組支援	中丹“絆”フェスタ事業
平和を愛する国際的な風土づくり	◇地域の課題を解決できる人財の育成 ◇3市との連携強化と知的資源の有効活用を通じた課題解決の推進	中丹地域課題解決・広域連携事業

丹後地域振興計画

(1) 今後の課題

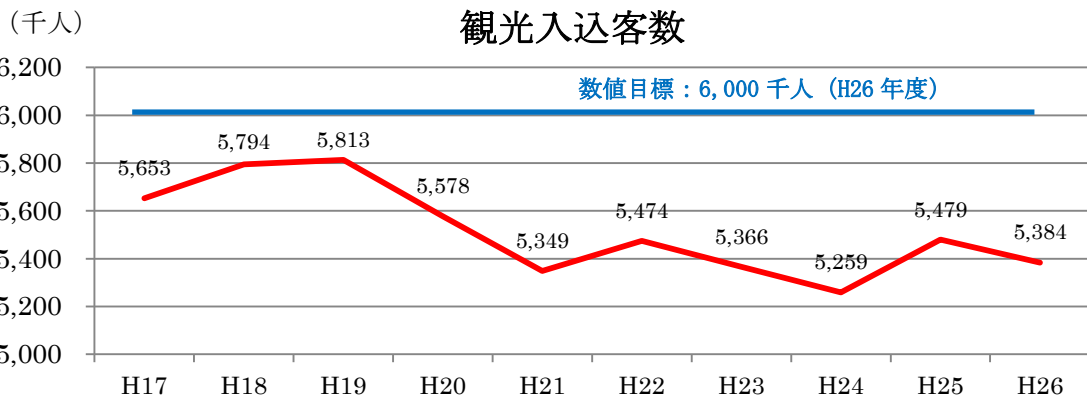
今後の課題 1

丹後地域の活性化を牽引する観光振興

- 丹後地域への観光入込客数は、平成15年には約630万人であったが、海外も含めた他の観光地との競争激化の中、近年は減少傾向にあり、年間540万人前後で推移
- 平成26年7月に観光庁から観光圏整備実施計画の認定を受けたが、夏の海水浴と冬のカニを軸とした二季型観光地として宿泊率は17%前後となっており、一人当たりの観光消費額も3,072円と伸び悩み
- 特A評価の丹後産コシヒカリ、ブランド京野菜、ナシ、ブドウ、桃、茶、丹後とり貝、丹後ぐじなど地域特性をいかしたブランド製品の魅力発信を進めるとともに、それらを支える基盤づくりとして、「丹後農業実践型学舎」「海の民学舎」による就業支援、後継者確保等担い手を育成

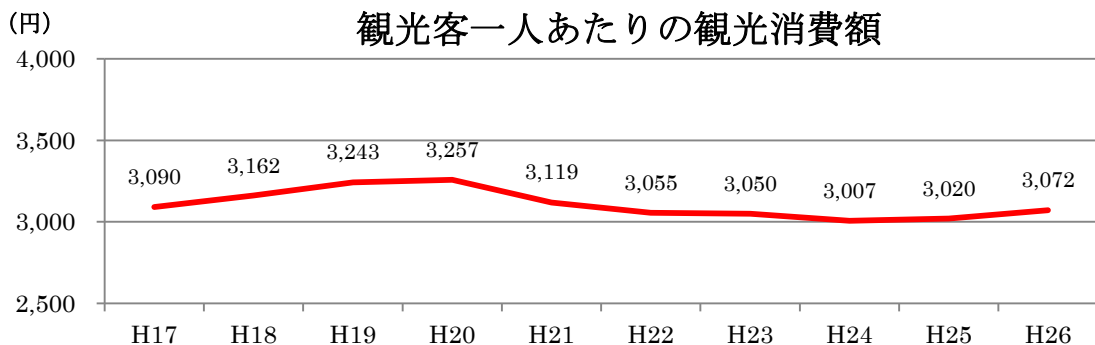
【課題】

- ☆ 豊富な観光資源を更に磨き上げ、「丹後地域ならではのブランド」を築き、これらを活用した体験プログラムの開発や広い範囲に点在している観光資源を鉄道やバス、観光船等を活用して周遊するシステムを造成し、経済波及効果の大きい滞在交流型の観光地域づくりを推進し、一人当たりの観光消費額を増やしていくことが必要



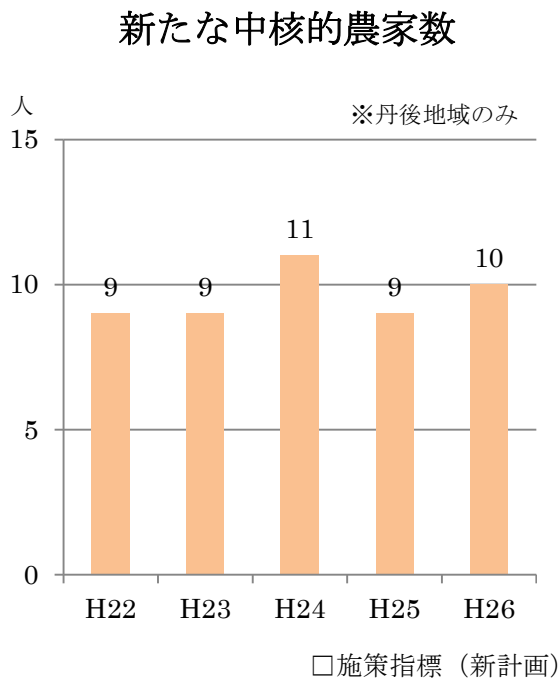
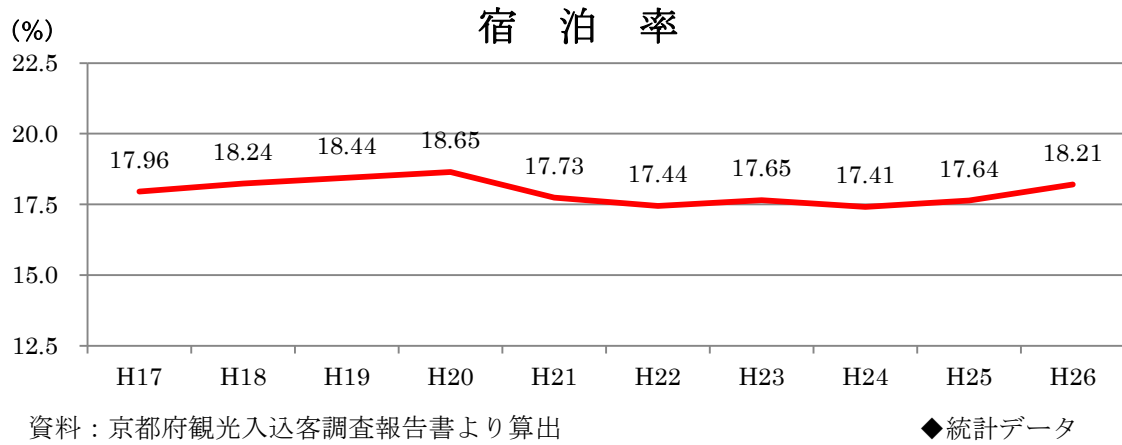
資料：京都府観光入込客調査報告書

□施策指標

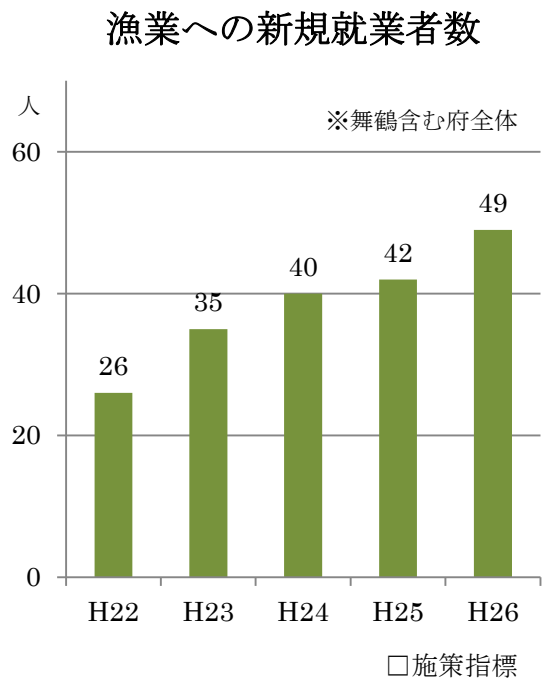


資料：京都府観光入込客調査報告書より算出

□施策指標 (新計画)



資料：京都府丹後広域振興局
農林商工部調べ



資料：京都府水産事務所調べ

今後の課題 2

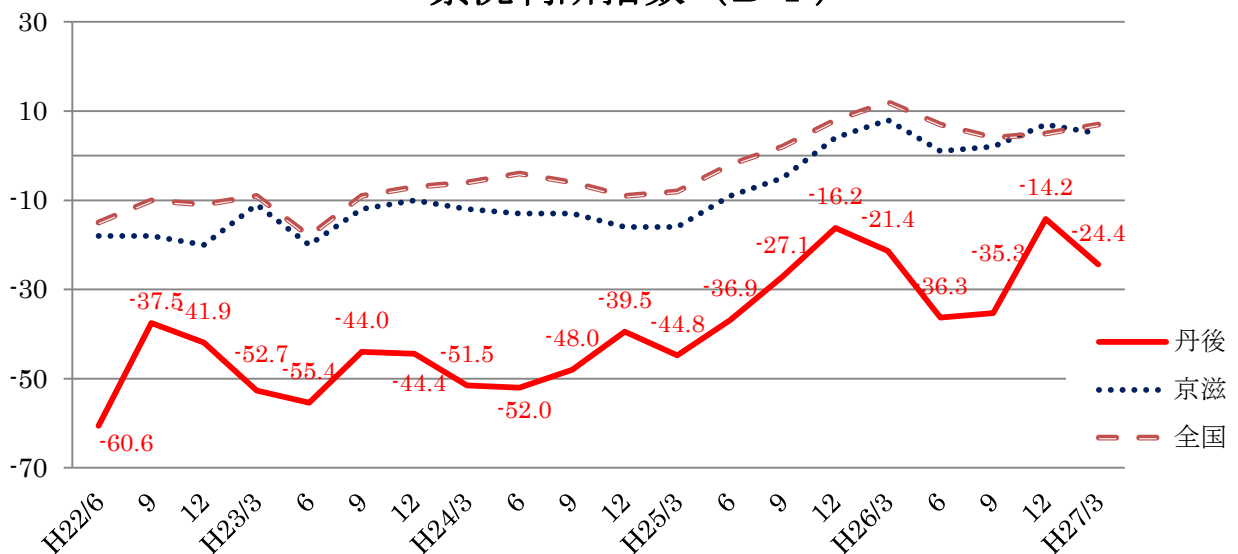
ものづくり産業等地域産業の振興

- 平成24年末以降、我が国の経済は持ち直しに転じているが、中小企業の多い丹後地域は、個人消費の伸び悩みや電気料金の値上げなどの影響により、景気回復の実感が得られていない状況
- 丹後地域は約290年の伝統を誇る「丹後ちりめん」の産地であり、織物業が基幹産業の一つとして地域経済を支えてきたところであるが、消費者の生活スタイルの多様化の中、和装需要の低迷等により、平成25年の丹後ちりめんの生産数量は43万反（ピーク時：920万反（昭和48年））となるなど厳しい経営環境
- 機械金属業においても、高付加価値の商品づくりや企業競争力強化のための高度な加工技術をもった技術者の確保、高度加工に対応できる新規設備の導入等が求められており、平成20年10月に、中小企業のための総合的な拠点となる「丹後・知恵のものづくりパーク」を開設し、府北部のものづくり人材の育成や新規産業の創出を支援
- 更に、進学等を機に丹後を離れる若者が多く、これからの地域産業を担う人材確保が困難な状況であることから、平成25年4月に「北京都ショブパーク」を開設、北部地域へのU・Iターン促進の取組を進めており、U・Iターン者の就業者数は増加傾向にあるが、業種によっては人手不足の状況

【課題】

- ☆ 「丹後・知恵のものづくりパーク」において、これまでの実績や経験の蓄積、様々な設備、ネットワーク等を最大限に活用した技術支援を行うとともに、丹後地域に戻りたい、住みたいと考える若者等に対して、積極的に地域情報や企業情報等を発信することにより、U・Iターン等を促進

景況判断指数（DI）

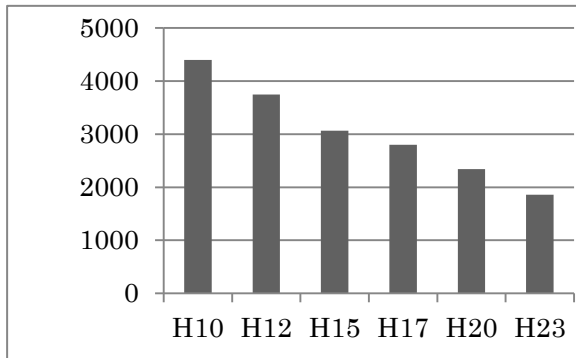


資料：民間金融機関調べ

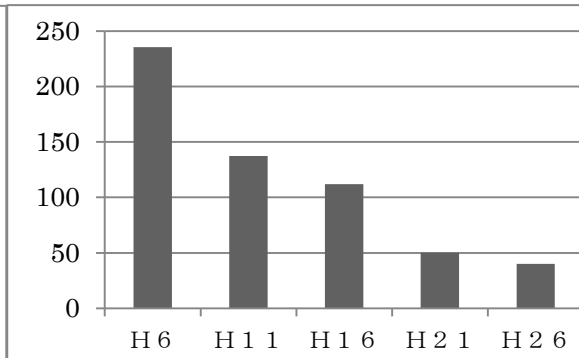
◆統計データ

丹後織物産地の推移

事業所数



ちりめん生産量（万反）

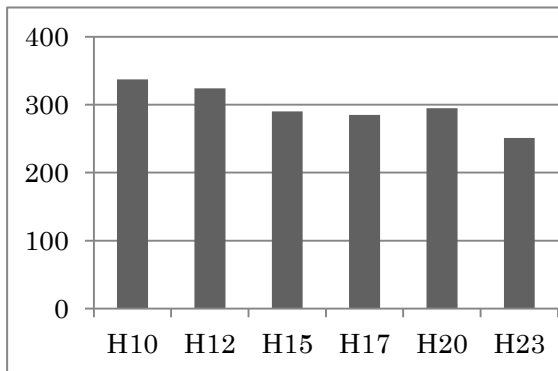


資料：工業統計調査（京都府の工業） ◆統計データ
※H23は経済センサス - 活動調査
（総務省・経済産業省）

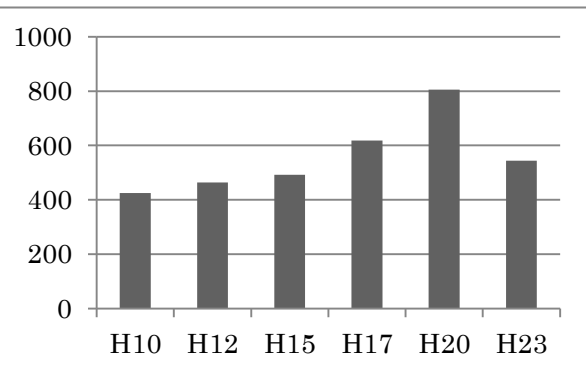
資料：丹後織物工業組合調査 ◆統計データ

丹後機械金属業の推移

事業所数



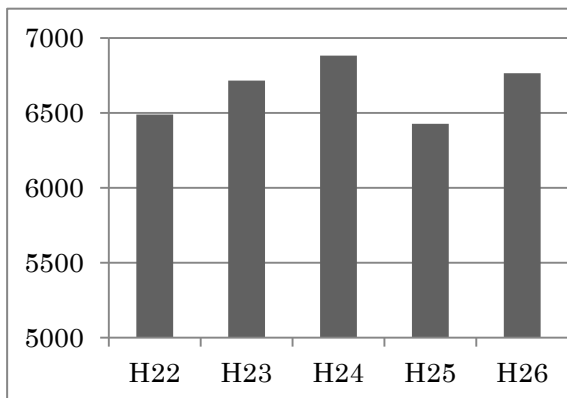
製造品出荷額（億円）



資料：工業統計調査（京都府の工業） ◆統計データ
※H23は経済センサス - 活動調査
（総務省・経済産業省）

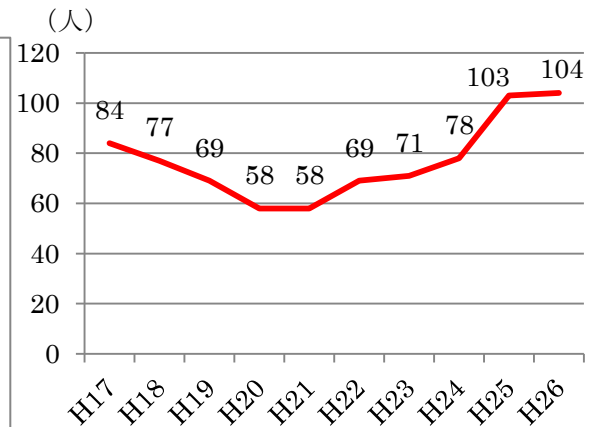
資料：工業統計調査（京都府の工業） ◆統計データ
※H23は経済センサス - 活動調査
（総務省・経済産業省）

丹後・知恵のものづくりパーク 技術相談・企業支援件数



資料：京都府織物・機械金属
振興センター調べ □施策指標
（新計画）

U・Iターン就業者数



資料：北京都ジョブパーク調べ □施策指標
（新計画）

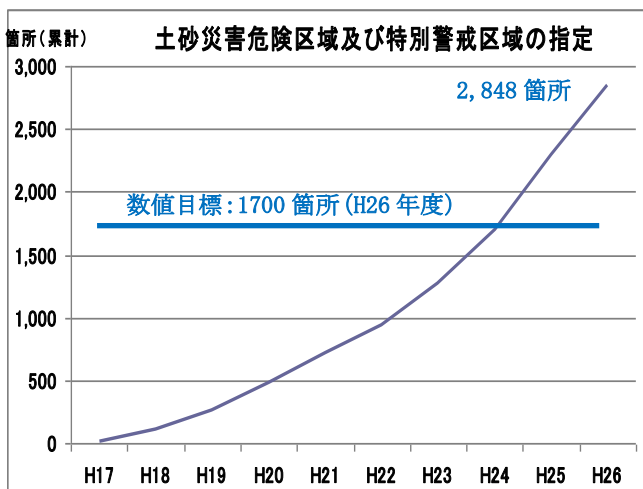
今後の課題 3

府民生活の安心・安全の確保

- 高齢化率の高い丹後地域では、要配慮者に対する災害時の的確な対応が求められている中、約3,000の土石流、急傾斜、地すべり等の土砂災害警戒区域を指定し、保全対象等の重要度の高い箇所から順次整備
- 丹後地域は、医師をはじめとする医療従事者が不足しており、府立医科大学附属北部医療センターを核とし、医療、介護、福祉機関等のネットワークを更に強化し、地域全体での医療連携体制の充実を推進
- 丹後圏域の死因の第1位である「がん」の早期発見、早期治療のため、がん検診受診勧奨を推進
- 丹後地域は、20～30歳代の人口比率が府平均と比較して低率であるとともに、年々減少の一途となっており、地域の活性化を牽引する次世代の^{けん}人材が不足

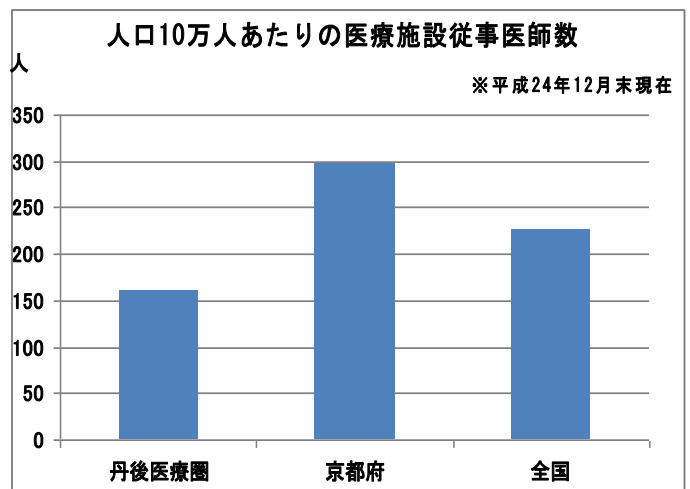
[課題]

- ☆ 地震による津波、雪害等地域特有の災害などに対処するため、住民の総力を結集した取組をまちづくりの段階から進め、ソフト・ハード両面から地域の安心・安全を確保するとともに、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療・介護・福祉を更に充実
また、10～20年後の丹後を見据え、未来を担う子どもたちに丹後の自然・歴史・文化を学習・体験する機会等を提供することで、ふるさとへの愛着を高め、地元定着者を増やすしくみづくりが必要



資料: 京都府丹後土木事務所調べ

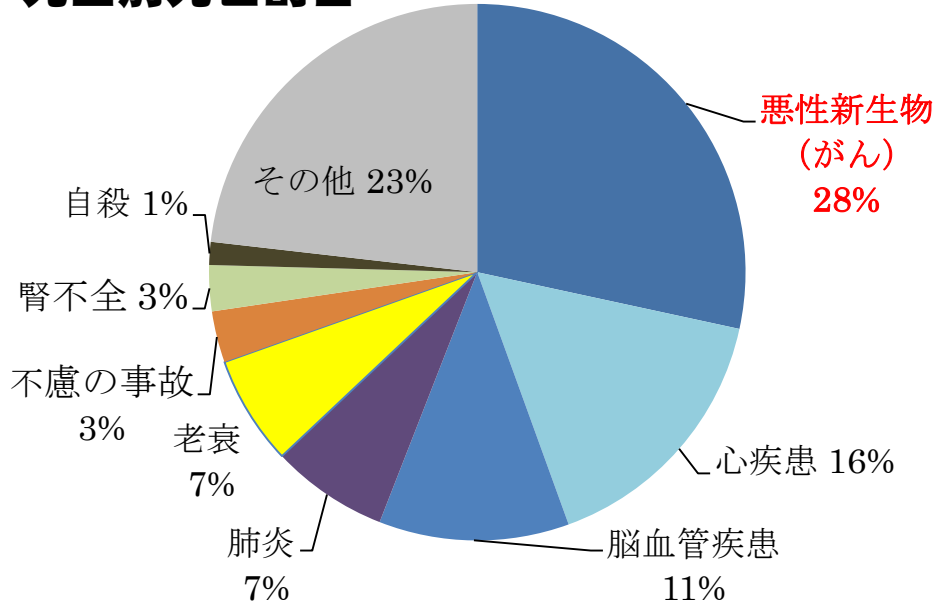
□ 施策指標



資料: 厚生労働省「医師・歯科
医師・薬剤師調査」

◆ 統計データ

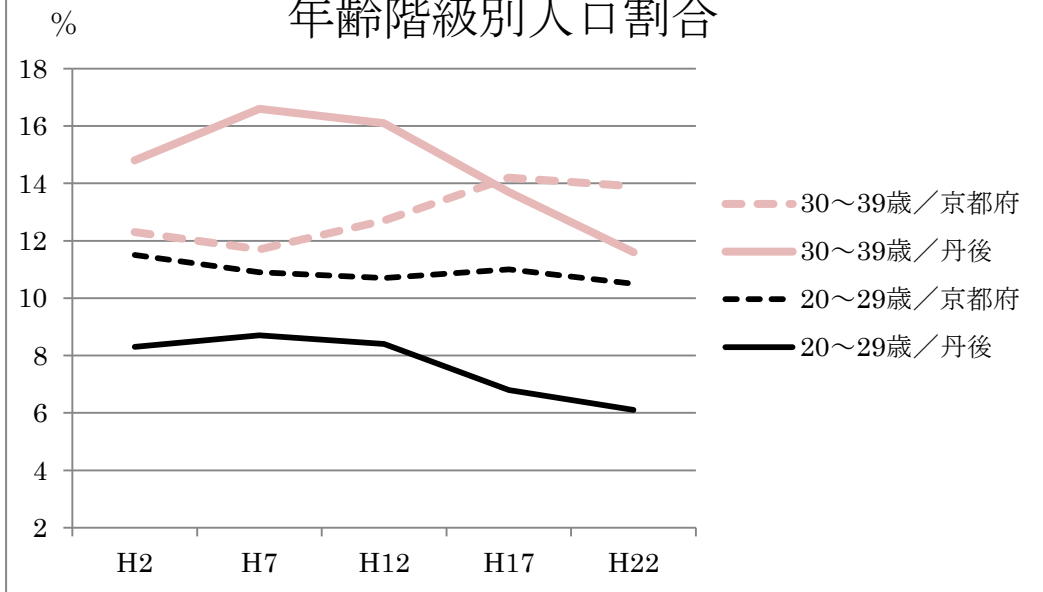
死因別死亡割合



資料：平成25年人口動態調査

◆統計データ

年齢階級別人口割合



資料：国勢調査結果より

◆統計データ

(2) 前年度の主な取組状況

基本方向 ■3つの京都、みやこ構想関係		平成26年度の主な取組と進捗状況
① 丹後地域の活性化を牽引する観光立地	丹後「日本海観光」プロジェクト(日本海観光構想の実現に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の京都」の戦略拠点と調和した基盤整備の推進(海の京都美観事業13件) ・中核人材と連携したエリア全体の観光をマネジメントするシステムの構築 ・「海の京都」の地酒とたからもの巡りモニターツアーの開催(3回/延べ69名参加) ・「海フェスタ京都」関連事業の実施、「海の京都博」に向けた準備
	「丹後・食の王国」プロジェクト(丹後・食の王国構想の実現に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後王国「食のみやこ」(旧丹後あじわいの郷)における10次産業化拠点に向けた整備 ・食関連ビジネスを推進する丹後地域アグリネットの設立 ・丹後産コシヒカリ特A獲得に向け、栽培管理の徹底を図る情報発信等の取組を実施 ・鹿、猪肉の安定供給を促進(管内20店舗で提供) ・丹後ばらずし食べ歩きマップ、ポスター等により情報発信 ・高水温に対応した「丹後とり貝」育成方法をタスクチームで漁業者に指導する取組等を実施
	「食」を支える基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後農業実践型学舎や担い手養成実践農場等による担い手の育成 ・農商工連携等の取組を支援(20件) ・大区画水田の整備(1地区継続実施) ・国営農地開発事業で造成された施設の保全改修や更新 ・防護柵設置、捕獲講習会、兵庫県等との連携による広域捕獲など、有害鳥獣対策を推進 ・「海の民学舎」開講に向け、新規就業者講座の研修生10名の選考などを実施
② ものづくり産業等地域産業の振興	中小企業へのステップアップ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業応援隊等による経営サポート(中小企業応援隊による事業所訪問 9,315件) ・地域資源を活かした特色ある創業や経営改善等への支援(72件) ・丹後織物企業等への経営支援(設備投資等支援件数77件/白生地生産数量400,192反)
	「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・企業ニーズ等を反映した各種研修会、講習会、研究会等の開催(3,405人) ・技術相談を通じた在職者の人材育成を実施(3,892人) ・3Dプリンタ等新規導入機器の利用促進に向け機器説明会を開催(10回)
	丹後ちりめん等織物業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイナー等との協働による新商品、新分野商品開発を支援(38企業) ・大消費地での展示商談会の開催による丹後ブランドの販路拡大を支援(20回) ・伝統産業生産基盤支援制度を活用した経営支援(77件) ・海外でも受け入れられる新たな商品開発、海外への販路開拓を支援(5社)
	機械金属業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・繊維強化プラスチック等の実用化研究や試作を支援(試作品群2件) ・新分野へのチャレンジに向けた技術的課題を支援(6件) ・技能検定のための受検対策講座を開催(13講座)
産業振興の基盤となる道路整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・大型バス周遊等のため、蒲入バイパス、上野バイパス等の丹後半島一周道路を整備推進 ・国道482号、網野峰山線、宮津養父線等の広域観光アクセス等の道路整備 	
③ 環境と文化の伝承	丹後ならではの自然環境・文化をいかす	<ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟再認定(2014/9/23) ・山陰海岸ジオパークの道路案内標識を設置 ・天橋立の世界遺産登録をめざし、松並木保全活動(松食い虫対策、広葉樹伐採等)を実施 ・若者の丹後への愛着心醸成のため、高校生が参画する「食と文化の祭典」などを開催
	丹後の豊かな自然を守り育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の森林を地域で支えるモデルフォレスト運動の取組を推進(8地区/1,017人) ・海岸松林の整備と再生(整備面積:18ha)を推進 ・府内産木材の利用を拡大(緑の交付金制度利用352m³、京丹後市公共木造保育園の完成) ・健全な森林を育成するための森林経営計画の策定指導(樹立面積:199ha) ・阿蘇海フェア、清掃活動の実施など阿蘇海環境改善に向けた様々な協働事業を推進
	地域文化の伝承	<ul style="list-style-type: none"> ・市町や各種団体が行う行祭事や文化イベントをフェイスブック等を活用し一体的に広報 ・地域文化活動の活性化のため、住民参加型ワークショップ等を開催(10回) ・地域の伝統芸能等の継承や後継者育成を補助金等により支援

基本方向 ■3つの京都、みやこ構想関係		平成26年度の主な取組と進捗状況
④人々が交流・連携する地域共生	地域力再生・NPOとの協働	<ul style="list-style-type: none"> ・協働コーディネーターによる情報の収集・発信や地域力再生交付金により団体活動を支援(支援団体数延べ207団体) ・管内NPO団体等の交流を深めるイベント等を開催(90人参加)
	ふるさと定住、地域を担う人づくり、命の里の再生とふるさと保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ・共に育む「命の里」事業により、農村集落の再生活動を支援(9地区) ・一村一業により地域活性化を図る明日の京都村づくり事業を実施(5地区) ・農村集落への移住促進のため空家改修を実施(9件) ・農林漁業体験民宿の開設(3件) ・棚田や農山村の大切さを子供たちに体験してもらいイベントを実施(45回)
	より利用しやすい公共交通ネットワークの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域公共交通網の形成に向けた取組を示す地域公共交通網形成計画を策定 ・KTRにおいて上下分離方式による鉄道事業再構築を実施 ・KTRリニューアル車両くろまつの導入等、利用促進に向けた取組を推進
⑤府民安心のまちづくり	保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ・北部医療センターの医師派遣機能強化(派遣件数3,128件)など医師確保対策を推進 ・医療用機器共同利用合同研修会の開催(4回)など、地域医療機関の連携 ・健康長寿コホート研究の開始 ・健康満丹プログラムの普及啓発など、たんご健康長寿日本一の取組を実施
	高齢者支援、子育て支援、障害者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅看取り家族支援交流会」や多職種協働の「医療と介護の連携フォーラム」を開催 ・初期認知症対応型カフェの設置・運営支援(16箇所)や徘徊搜索の広域情報伝達訓練実施 ・特養「安寿の里」竣工(27年4月開設)や小規模多機能施設開設(3箇所) ・子どもクリニック(32回)、発達相談(22回)、丹後地域発達支援フォーラム等の開催 ・たんごアートプロジェクト展示会の開催やグループホームの新規開設(高天の森)
	自殺のないまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー研修(33回/1,383人)、かかりつけ医うつ対応力研修、総合相談会の開催 ・管内6病院と連携した自殺未遂者ケアシステムの構築
	安心安全な消費生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者あんしんチームのWeb会議等の活用やくらしの安心推進員に向けた情報発信(3回) ・被害の未然防止のため、出前講座を実施(49回/受講者数2,791人)
	安心安全のまちづくり(河川整備、土砂災害対策等)	<ul style="list-style-type: none"> ・福田川、川上谷川、加悦奥川、佐濃谷川、小西川などの治水対策の推進 ・竹野川の河川整備計画の策定を推進 ・砂防・地すべり事業の推進(10箇所中2箇所完了)、急傾斜事業の推進(5箇所中1箇所完了) ・土砂災害警戒区域の指定の推進(指定率94.5%) ・緊急輸送道路の整備促進(国道178号、312号、482号)と橋梁耐震化推進(5橋) ・耐震診断、耐震改修、耐震フェア、耐震出前講座などにより住宅耐震対策を推進 ・大山堰など農業用水利施設の改修を推進 ・プレジャーボート規制条例の啓発活動実施 ・Xバンド基地対策専任職員配置、関係機関との連絡体制整備

(3) 数値目標に対する施策指標の達成状況

施 策 指 標		進捗率 (%)	進捗率グラフ
			0% 25% 50% 75% 100%
地域振興計画			
丹後			
1	丹後地域を訪れる観光客数／年	6.2	
2	京都から丹後の観光地への時間短縮(道路) 京都市～京丹後市	40.0	
3	農商工連携取組支援件数	106.0	
4	ブランド水産物の販売額／年	33.6	
5	担い手農業者	240.0	
6	漁業への新規就業者数	120.0	
7	「知恵の経営実践モデル企業認定制度」等に取り組む事業件数／年	620.0	
8	経営問題等に係るサポート(相談)件数／年	90.0	
9	「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成研修等延べ受講者数／年	47.4	
10	モデルフォレスト運動の推進(森林保全重点区域)	100.0	
11	地域力再生活動に取り組む団体数	374.4	
12	丹後地域へのUターン就業者数／年	383.3	
13	KTR年間利用者数／年	-136.4	
14	特別養護老人ホーム等の整備数	113.6	
15	土砂災害危険区域及び特別警戒区域の指定	216.7	
16	丹後産コシヒカリの食味ランキング ★目標値:特A(2016年度)	達成	

※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は斜線としている。

(4) 前年度の課題と主な取組状況

ベンチマークレポート [2014年9月] の「今後の課題」について、平成26年度2月補正予算及び27年度当初予算で計上した主な事業は次のとおり

丹後地域振興計画

分野	今後の課題	主な事業等
【丹後地域の活性化を牽引する観光立地】		
□丹後「日本海観光」プロジェクト（日本海観光構想の実現に向けて）	◇ターゲットイヤー（2015年度）に向けたコンテンツ・インフラ整備やイベント開催にあわせたプロモーション ◇観光圏の認定を契機にした広域滞在プログラムの造成	・「海の京都」推進事業 ・山陰海岸ジオパークPR促進事業
□「丹後・食の王国」プロジェクト（丹後・食の王国構想の実現に向けて）	◇「ビジネス連携推進会議」を中心にオール丹後で食関連ビジネスを推進 ◇「丹後あじわいの郷」における「食の10次産業化（生産・加工・販売＋人材育成）」の拠点づくり	・丹後産品ブランディング事業 ・丹後の地酒魅力発信向上支援事業 ・「丹後・食の王国 食と文化の祭典」開催事業
□「食」を支える基盤づくり	◇丹後の農水産物のイメージアップと付加価値の向上を図り、生産体制の強化とブランド化を推進 ◇猪肉・鹿肉の有効利用による丹後の新たな食材としての開発	・丹後産品ブランディング事業
【ものづくり産業等地域産業の振興】		
□中小企業へのステップアップ支援 □「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用 □丹後ちりめん等織物業の振興 □機械金属業の振興 □商店街活性化支援 □産業振興の基盤となる道路整備の推進	◇「丹後・知恵のものづくりパーク」の積極的活用による技術力向上 ◇伴走支援型の中小企業振興策の展開 ◇機械金属と織物との協働による新たな丹後産業の創出	・丹後の子供・地場産業体験事業
【環境と文化の伝承】		
□丹後ならではの自	◇豊かな自然を地域振興につなげる取組	・「海の京都」推進事業

<input type="checkbox"/> 自然環境・文化をいかす <input type="checkbox"/> 丹後の豊かな自然を守り育てる	<input checked="" type="checkbox"/> 天橋立松並保全強化等、地域一体となった取組の継続	<input type="checkbox"/> 山陰海岸ジオパークPR促進事業 <input type="checkbox"/> 次世代につなぐ自然との共生事業（ふるさと・棚田支援事業） <input type="checkbox"/> 丹後の豊かな緑環境を守り育てる事業 <input type="checkbox"/> 阿蘇海環境づくり協働事業 <input type="checkbox"/> 「丹後・食の王国 食と文化の祭典」開催事業
<input type="checkbox"/> 地域文化の伝承	<input checked="" type="checkbox"/> 地域文化活動、町並み保存・文化資料保全への継続支援	

【人々が交流・連携する地域共生】

<input type="checkbox"/> 人権の尊重 <input type="checkbox"/> 地域力再生・NPOとの協働	<input checked="" type="checkbox"/> リーダーや後継者などの人材育成や人材確保 <input checked="" type="checkbox"/> 安定した財政基盤づくりへの支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体間の情報交換等によるネットワーク化推進	
<input type="checkbox"/> ふるさと定住（Uターン等支援） <input type="checkbox"/> 地域を担う人づくり <input type="checkbox"/> 命の里の再生とふるさと保全活動	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の新しい協働活動の創出支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の特徴をいかした村づくりの推進	<input type="checkbox"/> 次世代につなぐ自然との共生事業（ふるさと・棚田支援事業） <input type="checkbox"/> TOMORROW丹後プロジェクト推進事業
<input type="checkbox"/> より利用しやすい公共交通ネットワークの実現（KTR、バス） <input type="checkbox"/> 幹線道路の通年2車線確保等の地域内の道路網整備 <input type="checkbox"/> 情報通信網を活用した地域ネットワークの整備支援	<input checked="" type="checkbox"/> より効果の高い公共交通ネットワークのあり方を構築 <input checked="" type="checkbox"/> 域外からの誘客につながる取組を地域の多様な主体が一体となって推進	

【府民安心のまちづくり】

<input type="checkbox"/> 保健医療	<input checked="" type="checkbox"/> 府立医科大学附属北部医療センターが拠点病院としての役割を果たせるよう地域医療支援機能を充実	
<input type="checkbox"/> 高齢者支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の就労支援 <input checked="" type="checkbox"/> 医療・介護・福祉サービス資源の充実	<input type="checkbox"/> 丹後子育て安心づくり推進事業

□障害者支援	◇医療従事者の人材確保に向けた支援 ◇障害者が地域で自立して暮らしていける雇用、経済基盤の確保	
□自殺のないまちづくり	◇市町の保健活動と連携した予防活動の実施 ◇関係機関、相談機関相互の連携強化による実践的な取組の推進	
□安心安全な消費生活の実現	◇相談割合が増加している高齢者を対象に、地域の様々な団体と連携した見守り活動の促進	
□安心安全のまちづくり（河川整備、土砂災害対策等）	◇浸水常襲地等の危険箇所の整備 ◇原子力防災への対応 ◇災害時のソフト対策が有効に機能する取組	・災害に強い人づくり事業

京都市域主要施策・事業

京都府が京都市域において展開する主要施策・事業に係る 2014 年度の実施状況をまとめる。

【府民安心の再構築】

(1) 子育て・子育ての安心

- 京都市や警察、学校、家庭裁判所等と連携し、非行等の問題を抱える少年をサポートする「立ち直り支援チーム（ユース・アシスト）」により少年一人ひとりに適した立ち直りを支援

(2) 学びの安心

- 一人ひとりの児童生徒に確かな学力を定着させるため、小学校 1、2 年生で 35 人学級を実施するなど京都式少人数教育を実施
- 京都大学をはじめとする大学等と連携し、大学教授等による出前学習、数学グランプリ、物理グランプリ、教員養成サポートセミナー等を実施

(3) 働きの安心

- 京都ジョブパークに国と府の職業訓練の統一窓口を設置し、求職者の状況に応じてきめ細やかな人づくりを実施
- 京都テルサ内のワーク・ライフ・バランスセンターを核として、中小企業の取組を支援

(4) 医療・福祉の安心

- 府立医科大学にリハビリテーション医学教室を開設し、専門医、認定臨床医を養成
- 小児がん拠点病院（府立医科大学・京都大学）を中核として、地域医療機関と連携し、小児在宅医療従事者等に対する研修を実施

(5) 長寿の安心

- 「京都地域包括ケア推進機構」を構成する各専門分野の団体間の連携・協働を促進し、市町村等における地域包括ケアの取組を支援

(6) 暮らしの安心

- 西京警察署桂西口交番を新設するとともに、松原、東堀川交番、高尾駐在所の建替整備に併せて「コミュニティルーム」を設置
- 府民協働防犯ステーション等での出前講座などにより、高齢者等の消費者被害を未然防止・拡大防止
- 府立学校の耐震補強工事等を実施（鳥羽高校ほか）
- 鴨川の治水対策として護岸整備、中州除去を実施
- 土砂災害対策工事（水尾川等）を実施

【地域共生の実現】

（１）人権尊重

- 国、人権擁護委員連合会、NPO法人等と連携・協働し、「京都ヒューマンフェスタ 2014」（京都テルサ）を開催

（２）地域力再生

- 府庁内の「ソーシャル・ビジネスセンター」において、ビジネス的手法により地域課題の解決を図る地域力ビジネス（京都式ソーシャル・ビジネス）を支援
- 府民公募型整備事業を実施（鴨川、鴨川公園ほか）
- 京都府地域力再生プロジェクト支援事業を実施
- 府庁NPOパートナーシップセンターにおいて、NPOと行政、NPO相互の協働・連携を支援

（３）新たなコミュニティづくり

- 一商一特事業の実施、特定商店街に対する重点支援等により、地域と連携した魅力ある商店街づくりを推進
- 多様な世帯が居住できる桃山日向団地建設第２期工事完了
- 新堀川魅力創造事業において、全体の整備計画及び外観デザインガイドラインを策定

（４）男女共同参画

- 京都テルサ内の京都ジョブパークマザーズジョブカフェにおいて、女性の子育てと就業をワンストップで支援

（５）ふるさと定住

- 里の仕事人による伴走支援等地域の課題解決の取組を共に育む『命の里』事業により実施（左京区北部地区）
- 「特定鳥獣保護管理計画-ツキノワグマ-(第3期)」に基づきツキノワグマ対策を実施

【京都力の発揮】

(1) 人づくり

- 京都高等技術専門校（伏見区）、京都未来を担う人づくりサポートセンター（京都テルサ）等において、府内企業への就業者を育成・確保
- 京都クロスメディアクリエイターセンター等において、若手クリエイターを育成

(2) 環境の「みやこ」

- 国立京都国際会館において「KYOTO地球環境の殿堂」を推進（新たな殿堂入り1名）
- 「千年の都・鴨川清流プラン」に基づきジョギングロード、自然を身近に感じる河川空間等を整備
- 嵐山東公園の排水性向上工事を実施
- 京都市と協働して鴨川ヌートリア防除を新たに実施

(3) 文化創造

- 新総合資料館（仮称）建設工事を実施
- 府立大学等3大学教養教育共同化施設の供用開始
- 府立植物園ファンクラブ、オフィシャルパートナー制度の創設
- 京都文化博物館等において「京都アートフリーマーケット」（秋・春）を開催
- 「第3回全国高校生伝統文化フェスティバル」を開催（京都コンサートホール）
- 京都国際現代芸術祭2015を開催

(4) 産業革新・中小企業育成

- 府と京都市が協調して中小企業融資制度の利用促進を図り、中小企業の経営改善を支援
- 京都・太秦への映画・コンテンツ産業の集積や人材育成等を推進
- 関西イノベーション国際戦略総合特区制度を活用し、京都市内及びけいはんな学研都市の立地企業を支援
- 京都総合観光案内所の観光案内のほか、観光情報発信等、京都花灯路、京の七夕等の観光事業を府市協調で運営
- 丹波広域基幹林道（深見大布施線ほか）完成
- 京都大学・立命館大学など5大学で府内大学生に対するきもの文化の普及及び着付け体験を実施が
- ジェトロ京都事務所を誘致し、中小企業の海外販路開拓と海外のR&D企業の誘致を推進

(5) 交流連帯

- 叡山電鉄、京福電鉄の軌道安全性向上のための設備整備補助を実施
- JR奈良線複線化整備の京都駅設備改良に着手

